

平成23年度第3次熊本市環境総合計画 重点協働プロジェクト
に関する市民アンケート調査報告書

平成24年11月

熊本市

1. 調査概要	1
---------	---

2. アンケート調査結果	2
--------------	---

(1) 回答者の内訳	2
------------	---

(2) 調査結果	3
----------	---

■ 「ひとづくり」プロジェクトについて

1. 環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。	3
2. この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。	5
2-1. 設問2で「参加した」と回答した場合、参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動（活動）はありますか。また、あるとしたらどういったことですか。	9
2-2. 設問2で「参加していない」と回答した場合、参加しなかった理由は何ですか。	12
3. 今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。	14
4. どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したいと思いますか。	17
5. 市民の環境保全意識を高めるため、市としてどのような取り組みを行えば効果的だと思いますか。	20

■ 「まちづくりプロジェクト」について

6. 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。	23
7. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。	25
8. 設問7で「参加している」と回答した場合、どのような団体の活動に参加していますか。	27
8-1. 設問7で「参加している」と回答した場合、現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。	29
9. 設問7で「参加したことはないが、今後参加してみたい」と回答した場合、どのような団体の活動に参加してみたいですか。	31
9-1. 「参加したことはないが、今後参加してみたい」と回答した場合、今後、地域においてどのような環境保全活動に参加してみたいですか。	33
10. 設問7で「参加したことはないし、今後もしたいと思わない」と回答した場合、参加したいと思わない理由は何ですか。	35
11. どのような条件が整えば、より多くの方がまちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。	38

- 1 2. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だ . . . 41
と思いますか。
- 1 3. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。 . . . 44
- 1 4. 環境に関する情報について、今後求めたいもの（不足しているもの）は何です . . . 46
か。

■ 「生物多様性」について

- 1 5. 「生物多様性」について知っていますか。 . . . 48

3. 参考資料（調査票） 50

1. 調査概要

■調査目的

平成23年3月に策定した第3次熊本市環境総合計画では、「未来へつなぎ、世界に誇れる環境文化都市」を目指すべき都市像として掲げ、それを実現するために共通して取り組む事項として「環境教育によるひとづくり」、「協働によるまちづくり」を重点協働プロジェクトとして位置づけている。また、本計画では、プロジェクトの実施状況や進捗状況を、市民意識調査等により毎年度点検評価し、その結果を計画実施体制等に反映し、着実な推進を図ることとしている。

本調査は、市民の日頃の環境保全行動・活動の取り組み状況や、それに対するニーズなどを調査し、重点協働プロジェクトの進捗状況の把握及び、新たに実施する施策の方向性を検討する資料とするため実施したものである。

■調査対象

市民：3,000人(住民基本台帳より満20歳以上の市民を無作為抽出)

■調査方法

アンケート調査票の郵送配布・回収

■調査期間

平成23年11月～12月

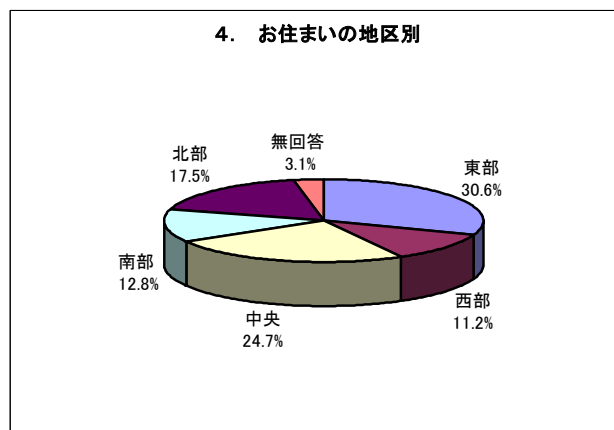
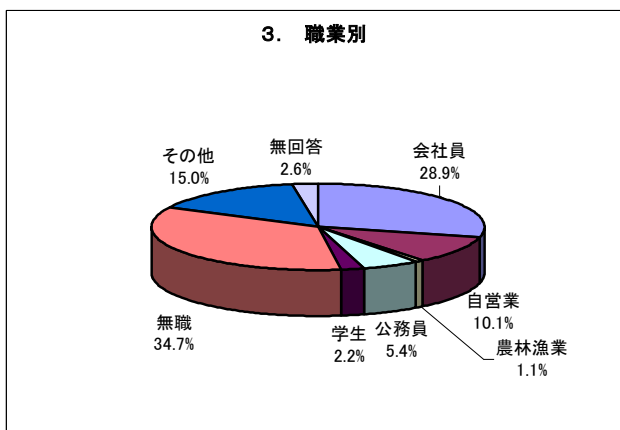
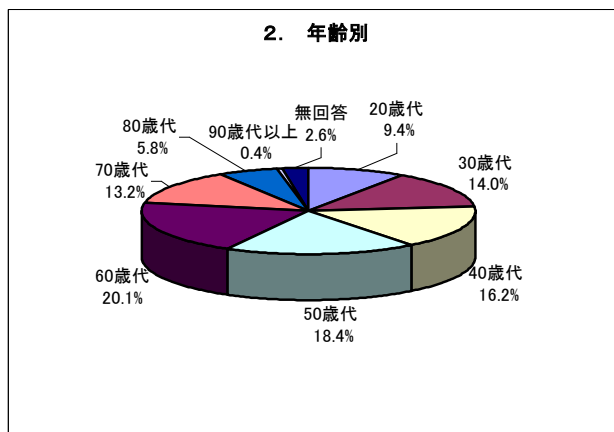
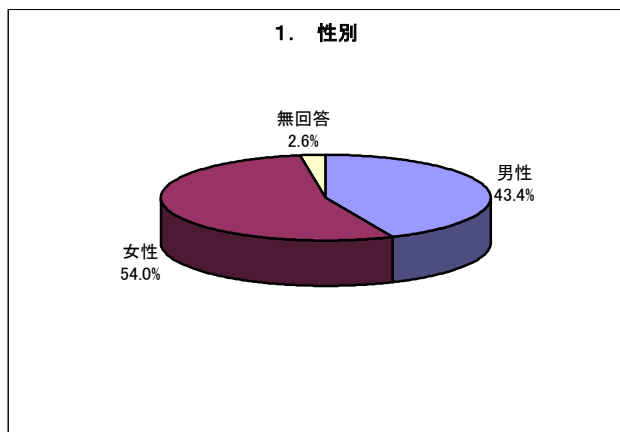
■有効回収数(有効回収率)

1,117人(37.2%)

※回答結果を分析するに当たって、回答数が10未満のものは除外した。

2. 市民アンケート結果

(1) 回答者の内訳



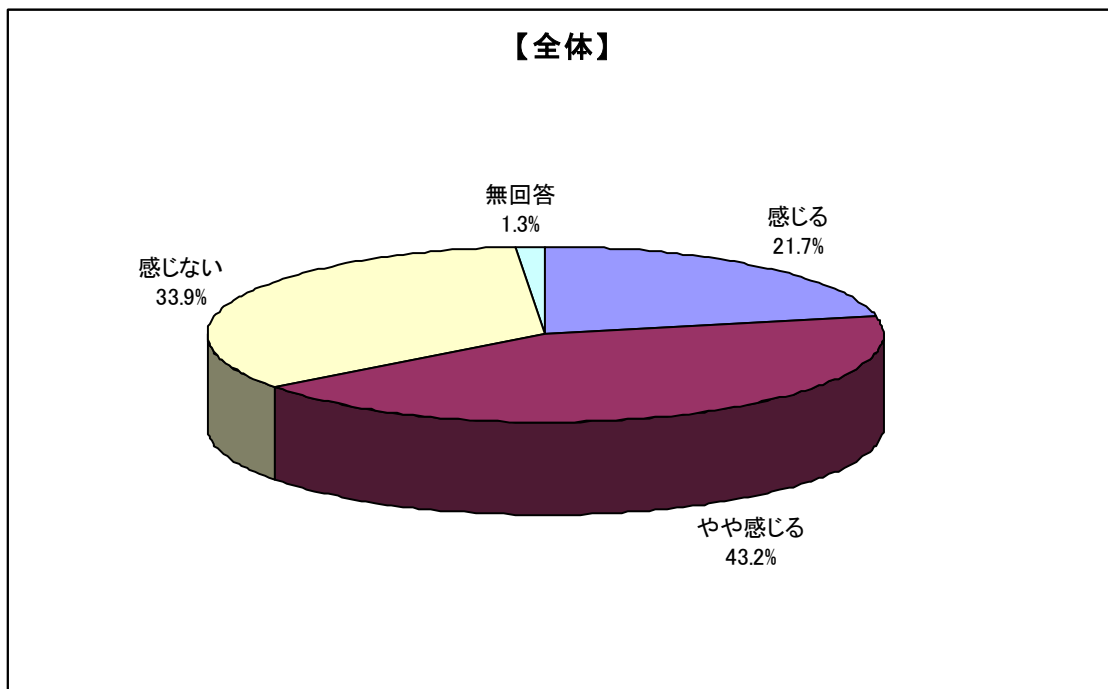
※居住地区

回答欄	該当地区（小学校区域）
1 東部	画図、健軍、秋津、泉ヶ丘、若葉、尾ノ上、西原、託麻東、託麻西、託麻北、桜木、東町、月出、健軍東、託麻南、山ノ内、長嶺、桜木東
2 西部	古町、春日、城西、花園、池田、白坪、高橋、池上、城山、松尾東、松尾西、松尾北、小島、中島、芳野、河内、
3 中央	壺川、碩台、白川、城東、慶徳、一新、五福、向山、黒髪、大江、本荘、春竹、出水、砂取、託麻原、帯山、白山、帯山西、出水南
4 南部	日吉、川尻、力合、御幸、田迎、城南、田迎南、飽田東、飽田南、飽田西、中緑、銭塘、奥古閑、川口、日吉東、富合、杉上、隈庄、豊田
5 北部	清水、龍田、城北、高平台、楠、麻生田、武蔵、弓削、楡木、川上、西里、北部東、植木、山本、田原、菱形、桜井、山東、田底、吉松

(2)調査結果

設問1～5「ひとづくりプロジェクト」について

設問1. 環境について学ぶ機会(学習会やイベント等)が増えてきたと感じますか。



【全体結果】

- ・「やや感じる」の割合が 43.2%で最も多く、「感じない」が 33.9%、感じるが 21.7%となっている。
- ・「やや感じる」と「感じる」を合わせた割合は 64.9%で、6 割以上が環境について学ぶ機会が増えてきたと感じている。

【男女別】

- ・「やや感じる」と「感じる」を合わせると、男性は60.4%、女性は68.5%と、女性の方が環境について学ぶ機会が増えてきたと感じる割合が高い。

【年代別】

- ・どの年代においても「やや感じる」と「感じる」を合わせた割合が 5 割を超えている。
- ・20 代、30 代の比較的若い世代では、「感じない」の割合が 4 割を超えており、他の世代と比べると高くなっている。

【職業別】

・職業による差はあまり見られない。

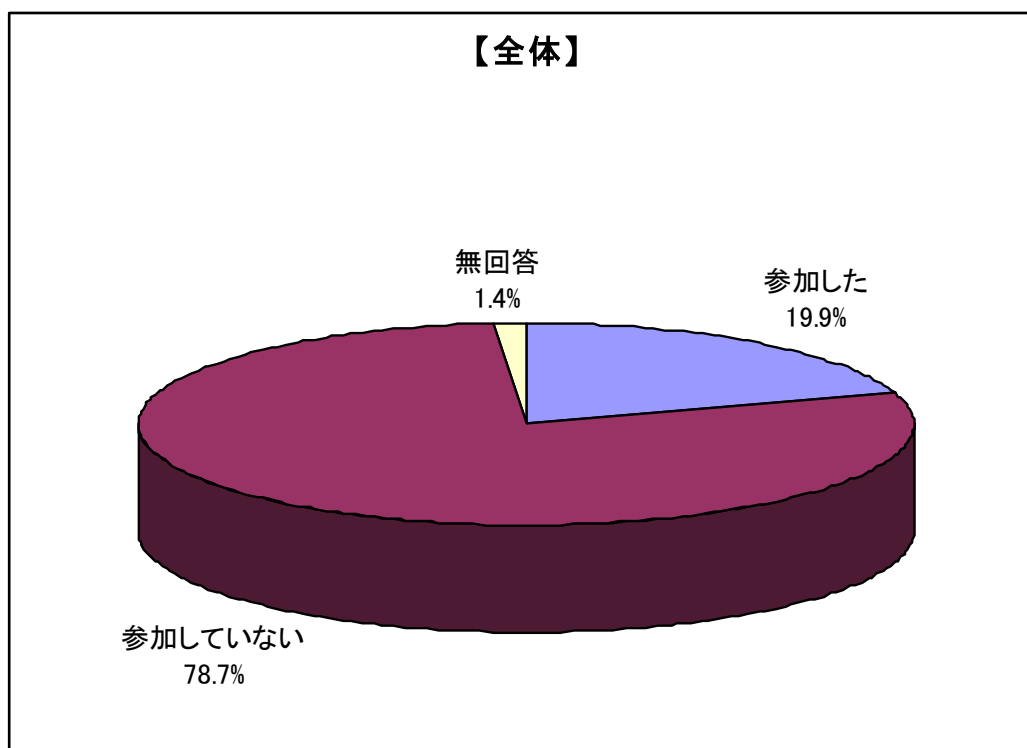
【地区別】

・中央では「やや感じる」と「感じる」を合わせた割合が 69.6%と最も高く、次いで南部 (66.4%)、東部(64.9%)となっている。

■回答者の属性別にみた「環境について学ぶ機会(学習会やイベント等)が増えてきたと感じますか。」

	合計	感じる	やや感じる	感じない	無回答
全体	1,117	21.7%	43.2%	33.9%	1.3%
性別					
男性	485	19.4%	41.0%	38.6%	1.0%
女性	603	23.6%	44.9%	30.5%	1.0%
年代別					
20歳代	105	15.2%	38.1%	46.7%	0.0%
30歳代	156	10.3%	46.2%	43.6%	0.0%
40歳代	181	23.2%	43.6%	32.6%	0.6%
50歳代	205	29.3%	42.4%	27.8%	0.5%
60歳代	224	21.0%	46.4%	32.1%	0.4%
70歳代	148	29.1%	40.5%	27.7%	2.7%
80歳代	65	18.5%	40.0%	35.4%	6.2%
90歳代以上	4	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
職業別					
会社員	323	13.9%	43.7%	41.5%	0.9%
自営業	113	23.0%	40.7%	36.3%	0.0%
農林漁業	12	8.3%	41.7%	50.0%	0.0%
公務員	60	28.3%	41.7%	30.0%	0.0%
学生	25	20.0%	44.0%	36.0%	0.0%
無職	388	24.0%	45.9%	28.1%	2.1%
その他	167	28.7%	38.9%	32.3%	0.0%
地区別					
東部	342	21.6%	43.3%	33.9%	1.2%
西部	125	17.6%	43.2%	37.6%	1.6%
中央	276	24.3%	45.3%	29.3%	1.1%
南部	143	19.6%	46.9%	32.9%	0.7%
北部	196	21.4%	38.8%	39.3%	0.5%

設問2. この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。



【全体結果】

・「参加した」の割合が 19.9%と、2 割弱となっている。

【男女別】

・「参加した」の割合が、男性では 22.1%、女性では 17.9%と、男性のほうがやや高い。

【年代別】

・「参加した」の割合が、50 歳代が 24.9%で最も多く、次いで 70 歳代 (23.6%)、40 歳代 (20.4%)となっている。

【職業別】

・「参加した」の割合が、公務員が 26.7%で最も高く、次いで無職、(21.9%)、会社員 (18.0%)となっている。

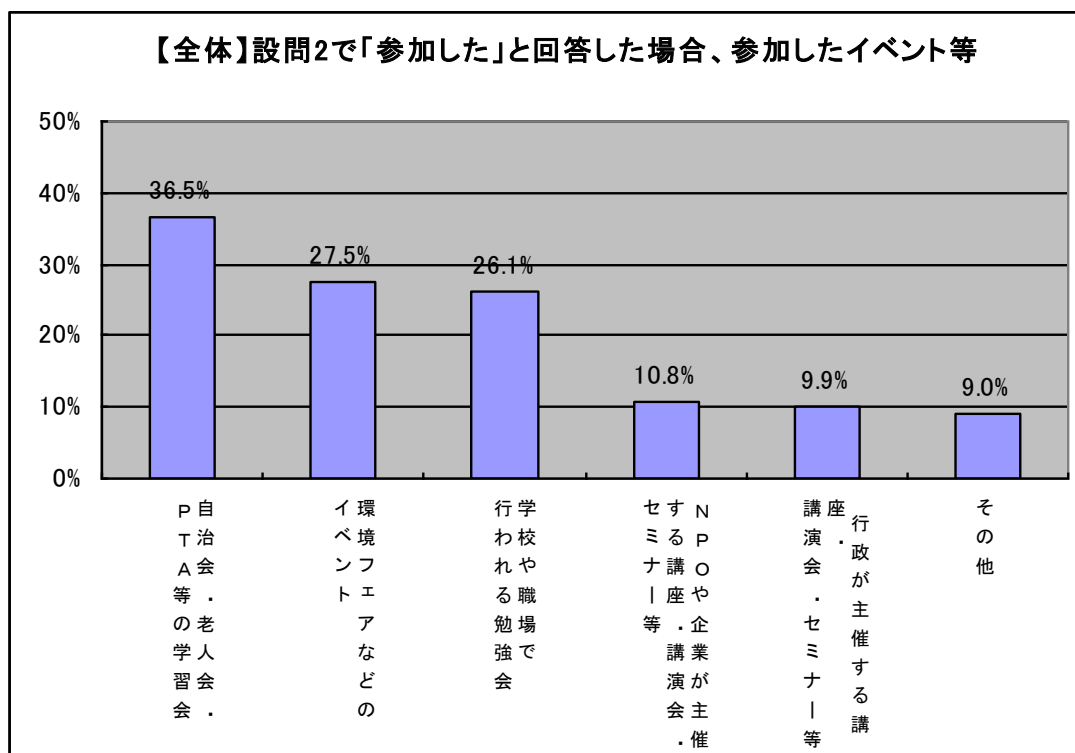
【地区別】

・「参加した」の割合が、北部が 27.0%で最も高く、次いで南部 (23.8%)、中央 (18.5%)となっている。

■回答者の属性別にみた「この 1 年以内で、環境に関する学習会やイベント等に
参加しましたか。」

	合計	参加した	参加していない	無回答
全体	1,117	19.9%	78.7%	1.4%
性別				
男性	485	22.1%	76.7%	1.2%
女性	603	17.9%	81.1%	1.0%
年代別				
20歳代	105	18.1%	81.9%	0.0%
30歳代	156	11.5%	87.2%	1.3%
40歳代	181	20.4%	78.5%	1.1%
50歳代	205	24.9%	74.6%	0.5%
60歳代	224	21.0%	78.1%	0.9%
70歳代	148	23.6%	73.6%	2.7%
80歳代	65	12.3%	84.6%	3.1%
90歳代以上	4	0.0%	100.0%	0.0%
職業別				
会社員	323	18.0%	80.2%	1.9%
自営業	113	11.5%	87.6%	0.9%
農林漁業	12	33.3%	66.7%	0.0%
公務員	60	26.7%	73.3%	0.0%
学生	25	28.0%	72.0%	0.0%
無職	388	21.9%	76.8%	1.3%
その他	167	18.6%	81.4%	0.0%
地区別				
東部	342	17.8%	80.7%	1.5%
西部	125	11.2%	85.6%	3.2%
中央	276	18.5%	81.5%	0.0%
南部	143	23.8%	74.8%	1.4%
北部	196	27.0%	73.0%	0.0%

★設問2で「参加した」と回答した場合、参加したイベント等。



【全体結果】

・「参加した」と回答したうち、「自治会・老人会・PTA等の学習会」が 36.5%と最も多く、次いで「環境フェアなどのイベント」(27.5%)、「学校や職場で行われる勉強会」(26.1%)となっている。

【男女別】

・「参加した」と回答したうち、男性では「学校や職場で行われる勉強会」が 33.6%と最も多く、女性では「自治会・老人会・PTA等の学習会」が 38.9%と最も多くなっている。

【年代別】

・「参加した」と回答したうち、「その他」以外では、20歳代～50歳代では「学校や職場で行われる勉強会」が最も多く、60歳代以上の年代では「自治会・老人会・PTA等の学習会」が最も多かった。

【職業別】

・「参加した」と回答したうち、会社員(50.0%)、公務員(68.8%)、学生(42.9%)では、「学校や職場で行われる勉強会」が最も多かった。無職(55.3%)、及びその他(45.2%)では、「自治会・老人会・PTA等の学習会」が最も多かった。

【地区別】

・「参加した」と回答したうち、中央のみが「学校や職場で行われる勉強会」(31.4%)が最も高く、それ以外は「自治会・老人会・PTA等の学習会」が最も高かった。

■回答者の属性別にみた「設問2で「参加した」と回答した場合、参加したイベント等」

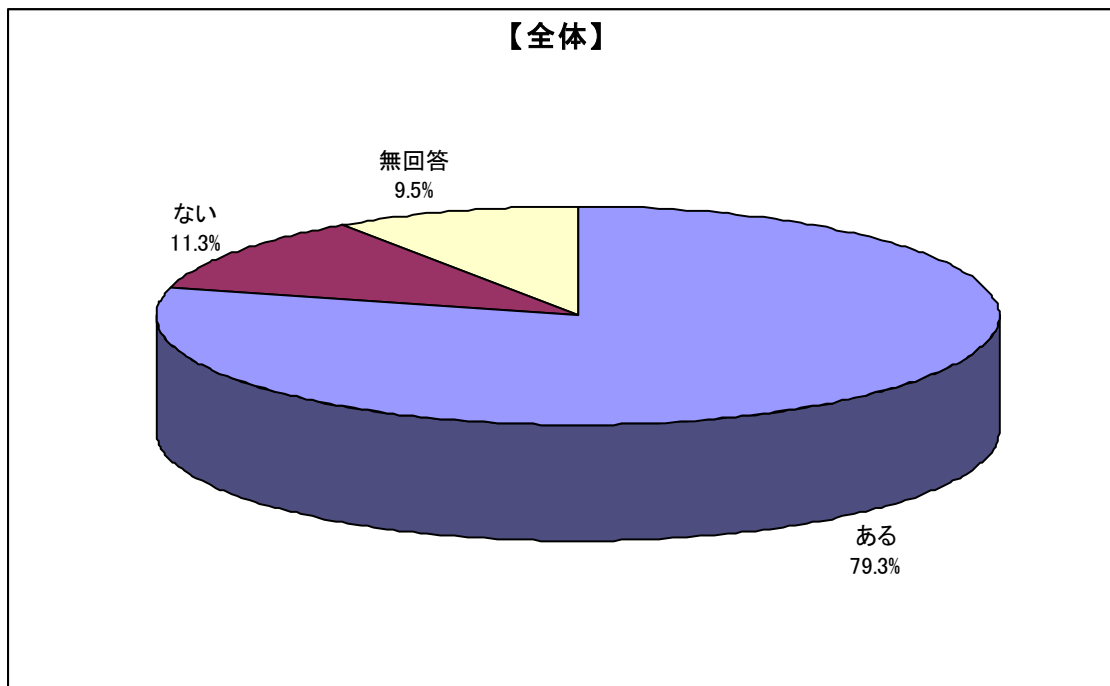
	合計	PTA等 の学 習会・ 老人会	環境 フェ アな どの イ ベ ン ト	学 校 や 職 場 で 行 わ れ る 勉 強 会	催 す る 講 座 ・ セ ミ ナ ー 等	N P O や 企 業 が 主 演	座 ・ 講 演 会 ・ セ ミ ナ ー 等	行 政 が 主 催 す る 講 演	その他
全体	222	36.5%	27.5%	26.1%	10.8%		9.9%	9.0%	
性別									
男性	107	32.7%	23.4%	33.6%	10.3%		9.3%	11.2%	
女性	108	38.9%	32.4%	19.4%	10.2%		10.2%	6.5%	
年代別									
20歳代	19	5.3%	47.4%	52.6%	5.3%		0.0%	15.8%	
30歳代	18	11.1%	27.8%	27.8%	0.0%		0.0%	33.3%	
40歳代	37	27.0%	24.3%	43.2%	16.2%		2.7%	2.7%	
50歳代	51	15.7%	35.3%	35.3%	17.6%		17.6%	2.0%	
60歳代	47	44.7%	27.7%	14.9%	6.4%		12.8%	12.8%	
70歳代	35	80.0%	17.1%	2.9%	8.6%		14.3%	2.9%	
80歳代	8	87.5%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%	12.5%	
90歳代以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%	0.0%	
職業別									
会社員	58	5.2%	29.3%	50.0%	12.1%		5.2%	8.6%	
自営業	13	15.4%	38.5%	38.5%	0.0%		0.0%	46.2%	
農林漁業	4	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%		0.0%	25.0%	
公務員	16	6.3%	18.8%	68.8%	6.3%		6.3%	0.0%	
学生	7	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%		0.0%	28.6%	
無職	85	55.3%	27.1%	7.1%	8.2%		12.9%	8.2%	
その他	31	45.2%	29.0%	25.8%	16.1%		12.9%	12.9%	
地区別									
東部	61	34.4%	34.4%	31.1%	6.6%		9.8%	6.6%	
西部	14	35.7%	35.7%	28.6%	7.1%		0.0%	7.1%	
中央	51	27.5%	25.5%	31.4%	13.7%		7.8%	13.7%	
南部	34	41.2%	20.6%	23.5%	14.7%		8.8%	5.9%	
北部	53	39.6%	26.4%	18.9%	7.5%		15.1%	9.4%	

参考

○その他のイベント等

- ・ライオンズクラブの行事に参加
- ・年2回一斉清掃
- ・春、秋のクリーン作戦
- ・農業関係
- ・加勢川クリーン作戦
- ・本を読んで学習
- ・設問1.2に対して活動に対してのPR不足ではないでしょうか。いつ、どこでどんなことをするのか知らない人が多いのでは。広報にもう少し努力を。
- ・職務上での実施
- ・民間の講習会(自主的な団体)
- ・街頭などであるイベント
- ・ECO検定を受検した
- ・ボランティア清掃(会社周辺道路)
- ・職場での地域の清掃活動

設問2-1. 設問2で「参加した」と答えられた方にお尋ねします。参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動(活動)はありますか。



【全体結果】

・「ある」の割合が、79.3%と、環境に関する学習会やイベントに参加したうちのほぼ 8割が、環境保全のために何らかの行動(活動)を実践している。

【男女別】

・「ある」の割合が、男性が 83.2%、女性が 75.9%と、男性のほうがやや高い。

【年代別】

・「ある」の割合は、70 歳代が 88.6%で最も多く、次いで 50 歳代(82.4%)、60 歳代(76.6%)となっている。

【職業別】

・「ある」の割合は、その他が 90.3%で最も高く、次いで公務員(81.3%)、無職(78.8%)となっている。

【地区別】

・「ある」の割合は、東部が 83.6%で最も高く、次いで南部(79.4%)、西部(78.6%)となっている。

■回答者の属性別にみた「参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動(活動)はありますか。」

	合計	ある	ない	無回答
全体	222	79.3%	11.3%	9.5%
性別				
男性	107	83.2%	11.2%	5.6%
女性	108	75.9%	12.0%	12.0%
年代別				
20歳代	19	73.7%	10.5%	15.8%
30歳代	18	66.7%	27.8%	5.6%
40歳代	37	75.7%	16.2%	8.1%
50歳代	51	82.4%	7.8%	9.8%
60歳代	47	76.6%	14.9%	8.5%
70歳代	35	88.6%	2.9%	8.6%
80歳代	8	100.0%	0.0%	0.0%
90歳代以上	0	0.0%	0.0%	0.0%
職業別				
会社員	58	74.1%	20.7%	5.2%
自営業	13	69.2%	15.4%	15.4%
農林漁業	4	100.0%	0.0%	0.0%
公務員	16	81.3%	6.3%	12.5%
学生	7	85.7%	0.0%	14.3%
無職	85	78.8%	10.6%	10.6%
その他	31	90.3%	3.2%	6.5%
地区別				
東部	61	83.6%	8.2%	8.2%
西部	14	78.6%	7.1%	14.3%
中央	51	76.5%	13.7%	9.8%
南部	34	79.4%	11.8%	8.8%
北部	53	77.4%	15.1%	7.5%

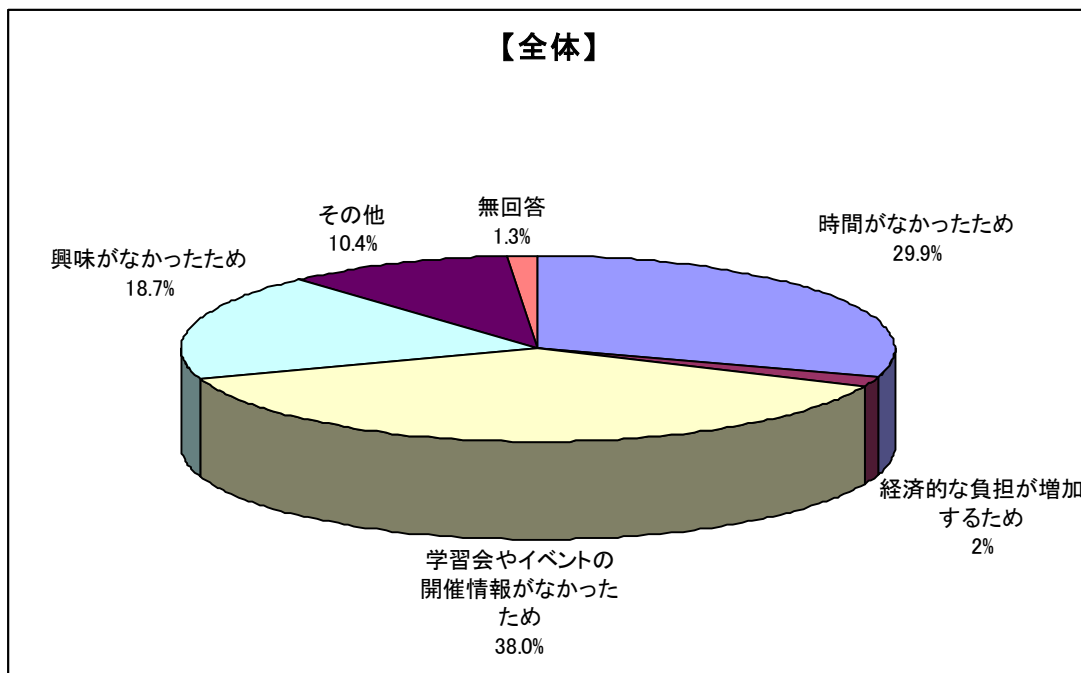
参考

○実践している内容

- ・NTT 環境美化活動
- ・節電、節水
- ・太陽光発電の導入
- ・ISO の取り組み
- ・緑化活動
- ・エコファーマーの利用
- ・洗剤使用量の減量
- ・河川の清掃
- ・出来る限り、休みのときは自動車を利用しない。
- ・環境にやさしい洗剤の使用
- ・地域環境保全隊
- ・エコバッグの利用
- ・環境川柳及び掲示
- ・アイドリングストップ
- ・町内に花の苗を植える
- ・堆肥づくり
- ・LED 球の使用
- ・涵養林の植林

- ・ごみの分別
- ・ダンボールコンポストの利用
- ・文化遺産現地視察及び自然保護活動、体験学習受講等
- ・「段ボール箱で生ゴミの堆肥づくり」の講座を受講させていただきました。生ゴミを堆肥化する事でゴミ減量にもなり上手く肥料を作る事ができ嬉しく思っています。
- ・熊本の水道水がミネラルウォーターだと知り、水を買うことをやめた。
- ・環境フェアで下水道の流れについて見せて頂き、これだけきれいになるんだからとまだ下水道の設備がなされていなかったのを、周りの人にアピールした。今やっと工事中です。特別活動したわけではないですが。

設問2-2. 設問2で「参加していない」と答えられた方にお尋ねします。参加しなかった理由は何ですか。(1つだけ)



【全体結果】

・「学習会やイベントの開催情報がなかったため」が 38.0%で最も高く、次いで「時間がなかったため」(29.9%)、「興味がなかったため」(18.7%)となっている。

【男女別】

・男性では「学習会やイベントの開催情報がなかったため」が 44.1%と最も高く、女性では「時間がなかったため」が 33.9%と最も高くなっている。

【年代別】

- ・60 歳代を除く全ての年代で、「学習会やイベントの開催情報がなかったため」が最も高かった。
- ・60 歳代では「学習会やイベントの開催情報がなかったため」が 44.0%と最も高くなっている。
- ・20 歳代から 50 歳代にかけて、「時間がなかったため」が高くなっていき、50 歳代を境に低くなっていく。

【職業別】

- ・公務員を除く全ての職業において「学習会やイベントの開催情報がなかったため」が最も高かった。
- ・公務員においては、「時間がなかったため」が 40.9%と最も高く、次いで「学習会やイベントの開催情報がなかったため」(31.8%)となっている。

【地区別】

- ・地区別による差はあまり見られない。

■回答者の属性別にみた「参加しなかった理由は何ですか。(1つだけ)」

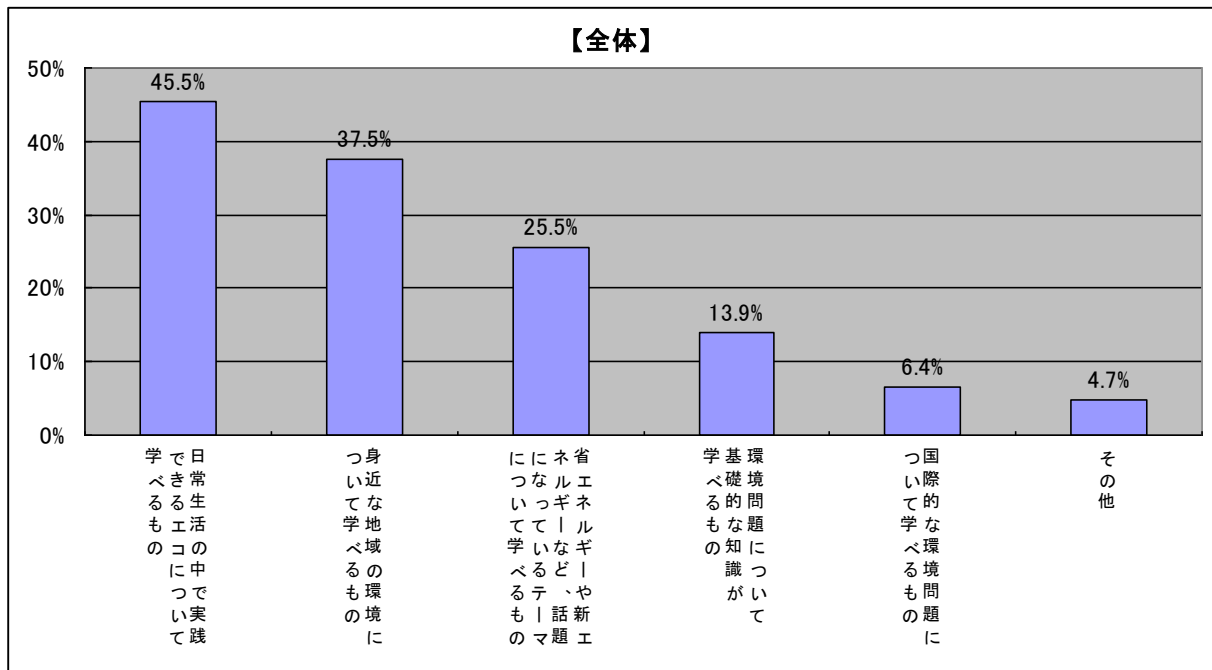
	合計	め時間 がな かつ た	加 経 す る た め の 負 担 が 増	か の 学 習 会 や イ ベ ン ト の 情 報 が な い た め	め興 味 が な か つ た	そ の 他	無 回 答
全体	879	29.9%	1.8%	38.0%	18.7%	10.4%	1.3%
性別							
男性	372	25.3%	1.3%	44.1%	17.7%	10.5%	1.1%
女性	489	33.9%	2.0%	32.9%	19.4%	10.2%	1.4%
年代別							
20歳代	86	29.1%	3.5%	29.1%	30.2%	8.1%	0.0%
30歳代	136	34.6%	0.7%	37.5%	23.5%	2.9%	0.7%
40歳代	142	35.9%	0.7%	37.3%	21.8%	4.2%	0.0%
50歳代	153	37.9%	1.3%	33.3%	20.3%	6.5%	0.7%
60歳代	175	32.6%	2.3%	44.0%	12.0%	8.0%	1.1%
70歳代	109	13.8%	3.7%	45.9%	14.7%	17.4%	4.6%
80歳代	55	10.9%	0.0%	32.7%	7.3%	47.3%	1.8%
90歳代以上	4	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%
職業別							
会社員	259	34.0%	0.4%	37.8%	21.6%	5.0%	1.2%
自営業	99	40.4%	0.0%	41.4%	12.1%	5.1%	1.0%
農林漁業	8	25.0%	0.0%	62.5%	0.0%	12.5%	0.0%
公務員	44	40.9%	0.0%	31.8%	18.2%	9.1%	0.0%
学生	18	27.8%	5.6%	38.9%	27.8%	0.0%	0.0%
無職	298	21.1%	3.0%	39.3%	17.1%	17.4%	2.0%
その他	136	32.4%	2.9%	32.4%	21.3%	10.3%	0.7%
地区別							
東部	276	31.9%	1.1%	35.5%	20.3%	9.8%	1.4%
西部	107	29.0%	4.7%	43.9%	14.0%	7.5%	0.9%
中央	225	28.0%	1.3%	36.0%	19.1%	13.8%	1.8%
南部	107	39.3%	1.9%	33.6%	15.9%	9.3%	0.0%
北部	143	24.5%	1.4%	44.8%	19.6%	8.4%	1.4%

参考

○その他の理由

- ・その様な呼び掛けがなかった
- ・魅力を感じなかったから
- ・体が不自由な為
- ・身近に感じなかった
- ・自分自身考えてやっている。他人に強制できない
- ・高齢のため
- ・情報を見なかったのとイベント参加が苦手なため
- ・小さい子どもがいるから
- ・開催情報もあり、興味もあるが、学習会が強制ではないのでわざわざ行きづらい
- ・市政だよりなど目を通して、自分にできる範囲のことをすれば良いと思ったため、参加まではしていない
- ・開催会場が自宅から遠かった(街なか中心である)
- ・ほとんど自分で勉強できるため
- ・参加への意識がない
- ・個人では参加出来ない。知人達からの誘いでもあれば。

設問3. 設問2で「参加した」と答えられた方と「参加していない」と答えられた方両方にお尋ねいたします。今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。



【全体結果】

・「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」が 45.5%で最も高く、次いで「身近な地域の環境について学べるもの」(37.5%)、「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」(25.5%)となっている。

【男女別】

・男性では「身近な地域の環境について学べるもの」が 40.6%で最も高く、女性では「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」が 54.2%と最も高くなっている。

【年代別】

・50 歳代以下では「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」が最も高く、60 歳代以上では「身近な地域の環境について学べるもの」が最も高くなっている。

【職業別】

・農林漁業(58.3%)、公務員(41.7%)においては「身近な地域の環境について学べるもの」が最も高く、学生では「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」(44.0%)が最も高くなっている。
 ・それ以外の職業においては「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」が最も高くなっている。

【地区別】

・どの地区においても、「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」が最も高く、次いで「身近な地域の環境について学べるもの」、「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」となっている。

■回答者の属性別にみた「今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。」

	全体	日常生活の中で実践できるもの	身近な地域の環境について学べるもの	省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの	環境問題に関する基礎的な知識が学べるもの	国際的な環境問題について学べるもの	その他
全体	1,117	45.5%	37.5%	25.5%	13.9%	6.4%	4.7%
性別							
男性	485	35.7%	40.6%	28.7%	15.9%	5.2%	4.7%
女性	603	54.2%	35.8%	23.5%	12.9%	7.5%	4.8%
年代別							
20歳代	105	42.9%	21.9%	32.4%	21.0%	15.2%	3.8%
30歳代	156	55.8%	29.5%	25.6%	14.7%	7.1%	5.1%
40歳代	181	53.0%	34.3%	27.6%	12.7%	7.7%	2.8%
50歳代	205	48.3%	35.6%	32.7%	18.0%	7.3%	3.9%
60歳代	224	43.8%	47.3%	24.1%	12.9%	3.1%	4.0%
70歳代	148	35.8%	56.1%	18.2%	10.8%	4.1%	4.1%
80歳代	65	30.8%	32.3%	10.8%	7.7%	1.5%	16.9%
90歳代以上	4	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%
職業別							
会社員	323	48.6%	29.7%	30.7%	17.0%	8.0%	3.7%
自営業	113	45.1%	40.7%	29.2%	15.0%	3.5%	4.4%
農林漁業	12	41.7%	58.3%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%
公務員	60	40.0%	41.7%	30.0%	11.7%	8.3%	5.0%
学生	25	28.0%	32.0%	44.0%	20.0%	20.0%	4.0%
無職	388	44.6%	43.0%	20.1%	13.7%	4.9%	5.4%
その他	167	49.7%	37.7%	24.0%	10.2%	6.6%	6.0%
地区別							
東部	342	48.8%	38.0%	24.0%	16.7%	5.6%	4.7%
西部	125	41.6%	37.6%	23.2%	12.0%	8.0%	4.8%
中央	276	44.6%	35.9%	29.0%	12.3%	7.2%	5.8%
南部	143	44.8%	39.2%	26.6%	12.6%	6.3%	4.2%
北部	196	46.4%	40.3%	26.0%	15.3%	6.1%	4.1%

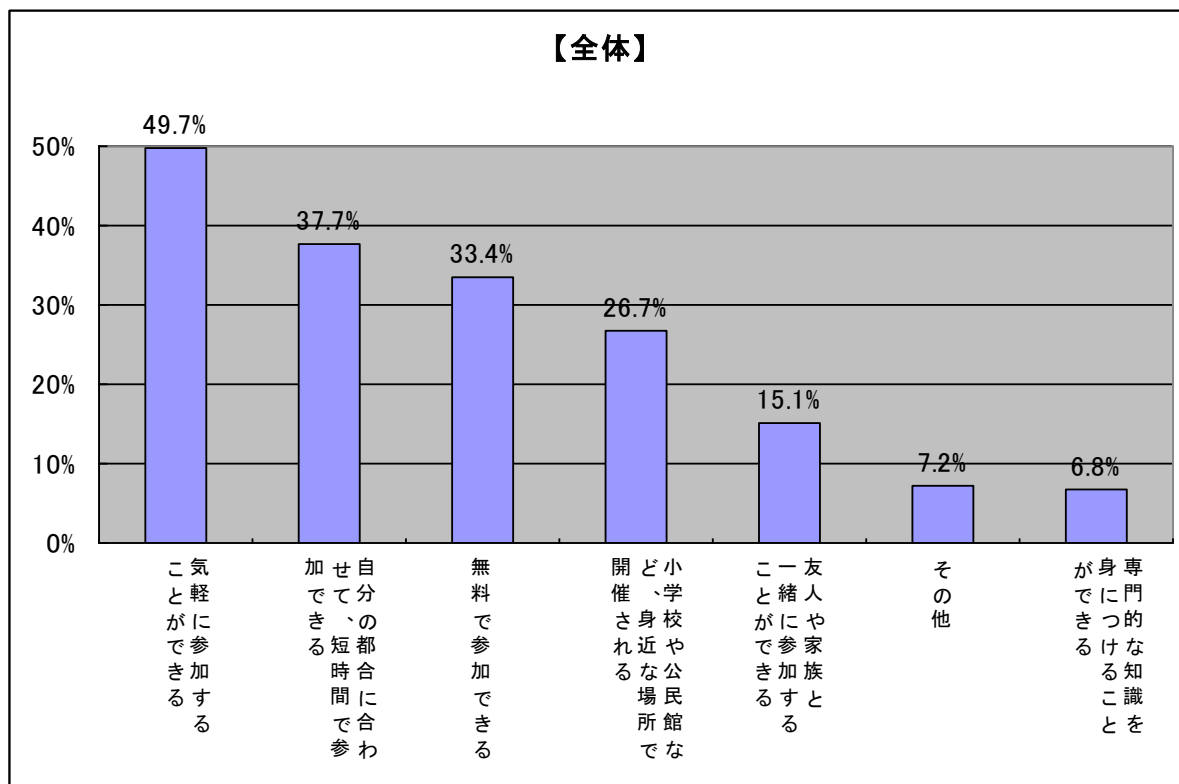
参考

○その他の内容

- ・経済活動と環境
- ・放射能に関すること
- ・原子力、福島を中心とする自然環境問題

- ・全部学びたい。小さい時から全部の人達が、これは基本として身に付けさせて頂き、そして世界のレベルに合わせる事が必要だと思います。
- ・ゴミの分別方法、例えば表示の意味(PP、PETなど)の基礎を教えてほしい。身近なもの対象にごみ分別を講義して欲しい。
- ・新エネルギーの矛盾点も理解しておきたい(良い面・悪い面、両面とも)
- ・河川への生活排水の流入防止
- ・趣味講座と一緒に学べる
- ・テレビ、ラジオで放送した方が聞きやすい。
- ・環境にもよく、家計の負担が減るような話題。
- ・自分自身でやっていく
- ・コンポストについて
- ・街づくり
- ・子どもと一緒に学べるもの
- ・内容がどんなものであれ参加したいとは思わない。
- ・熊本市の経済市場についてなど
- ・個々に関連して、どのように環境に改善できるか、地域的に
- ・参加しなくても公報紙・新聞等で得られる

設問4. どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したいと思いますか。



【全体結果】

・「可以轻松参加することができる」が 49.7%と最も高く、次いで「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」(37.7%)、「無料で参加できる」(33.4%)となっている。

【男女別】

・男女とも「可以轻松参加できる」が最も高く、次いで「自分の都合に合わせて短時間で参加できる」、「無料で参加できる」となっている。

【年代別】

・30歳代では「無料で参加できる」が 49.4%と最も高く、40歳代では「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」が 52.5%と最も高くなっている。
 ・それ以外の年代においては「可以轻松参加することができる」が最も高くなっている。

【職業別】

・職業による差はあまり見られない。

【地区別】

・地区別による差はあまり見られない。

■回答者の属性別にみた「どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したいと思いますか。」

	合計	と気が軽 にでき る参加 するこ	加せ自 でての できる 、の短 都合 時間 に合 参わ	無料 で参 加で きる	開催 され る小 学 校 や 公 民 館 な	でに友 人 や 家 族 と 一 緒 参 加 す る こ と が 緒	その他	き に 専 門 的 な 知 識 が 得 ら れ る こ と が 身
全体	1,117	49.7%	37.7%	33.4%	26.7%	15.1%	7.2%	6.8%
性別								
男性	485	48.9%	35.1%	27.2%	23.7%	12.6%	7.2%	7.2%
女性	603	51.2%	40.1%	38.8%	29.0%	17.4%	7.0%	6.6%
年代別								
20歳代	105	48.6%	39.0%	48.6%	16.2%	17.1%	11.4%	7.6%
30歳代	156	48.7%	44.2%	49.4%	23.7%	21.8%	8.3%	12.8%
40歳代	181	48.1%	52.5%	42.0%	22.7%	19.3%	5.5%	8.3%
50歳代	205	54.1%	41.0%	34.1%	24.9%	14.1%	6.3%	7.3%
60歳代	224	56.7%	34.4%	25.0%	32.6%	9.4%	2.2%	4.9%
70歳代	148	45.3%	22.3%	18.9%	36.5%	15.5%	6.1%	4.1%
80歳代	65	40.0%	21.5%	13.8%	27.7%	7.7%	21.5%	0.0%
90歳代以上	4	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
職業別								
会社員	323	49.5%	45.5%	39.0%	17.0%	16.7%	6.2%	9.3%
自営業	113	51.3%	35.4%	27.4%	32.7%	10.6%	7.1%	8.8%
農林漁業	12	58.3%	25.0%	25.0%	33.3%	33.3%	8.3%	0.0%
公務員	60	46.7%	43.3%	21.7%	23.3%	16.7%	6.7%	13.3%
学生	25	48.0%	40.0%	40.0%	20.0%	12.0%	8.0%	8.0%
無職	388	47.2%	29.6%	27.8%	30.7%	15.2%	7.7%	4.6%
その他	167	58.1%	43.1%	45.5%	34.1%	14.4%	7.2%	4.8%
地区別								
東部	342	48.5%	38.9%	34.5%	25.4%	14.6%	8.5%	5.8%
西部	125	48.0%	32.8%	30.4%	28.0%	12.8%	9.6%	5.6%
中央	276	51.1%	40.9%	33.7%	24.3%	14.1%	4.7%	8.3%
南部	143	50.3%	35.7%	35.0%	25.9%	19.6%	6.3%	6.3%
北部	196	53.6%	36.7%	34.7%	32.7%	16.8%	6.6%	8.7%

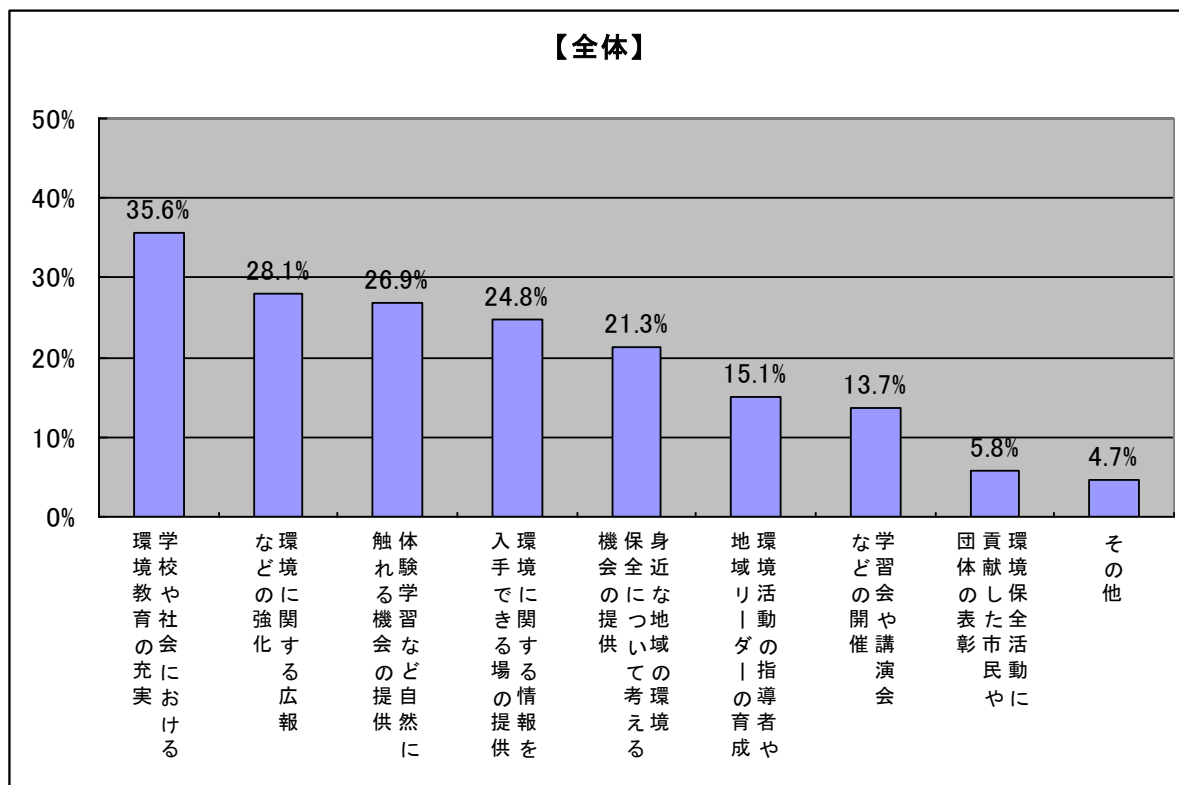
参考

○その他の内容

- ・インターネットなど家にいながら勉強したい。わざわざ出向くまでして参加する気がない
- ・交通機関の整備(電車の線路を増やす、歩行しても時間が掛からない等)
- ・バリアフリーな場所で参加しやすい所
- ・子どもが小さい為参加できない。
- ・開催の時間が仕事後が可能とか、仕事をしている人でも出来るエコの参加の仕方の提案
- ・託児などがあると参加しやすい(もちろん無料で)
- ・企業の中で取り組めば、全員参加で効果も大きい
- ・環境学習会の義務化
- ・自分の疑問をたずねることができる環境がある・人がいる

- ・興味を持つような内容(楽しい、わかりやすい説明)
- ・実践できる様な学習
- ・市政だよりなどにのせてくれるとわざわざ勉強会に参加しなくても環境などの知識が家族みんなまで共有することができる。小学～中学の子供さんのいる家庭は情報が入り参加しやすいと思うが、子供が小さかったり、共働きだと学習会へ参加しにくい。
- ・テレビ等に市の環境について討論してもらいたい。出られない方々も勉強になる。
- ・何か試供品がもらえたりする
- ・メーカー協賛による省エネ対策など。
- ・イベント等でちょっとした有名人がくればいい
- ・目的が明確な取組みに参加したい。行政の自己満足となつてはならないと思います。
- ・具体的な実践計画が示されているもの
- ・参加するまでに意欲は持てない。自己啓発については情報は多い。
- ・自治会単位に住民総参加の体制を整えて頂ければと思います

設問5. 市民の環境保全意識を高めるため、市としてどのような取り組みを行えば効果的だと思いますか。



【全体結果】

・「学校や社会における環境教育の充実」が 35.6%と最も高く、次いで「環境に関する広報などの強化」(28.1%)、「体験学習など自然に触れる機会の提供」(26.9%)となっている。

【男女別】

・男女とも「学校や社会における環境教育の充実」が最も高く、次いで男性では環境に関する広報などの強化」(28.0%)、女性では「体験学習など自然に触れる機会の提供」(30.0%)となっている。

【年代別】

・20 歳代においては「体験学習など自然に触れる機会の提供」が 39.0%と最も高かった。
 ・30 歳代においては「環境に関する広報などの強化」が 48.7%と、全体の傾向より 20%以上高くなっている。

【職業別】

・全ての職業において「学校や社会における環境教育の充実」が最も高くなっている。特に学生においては、全体の傾向より 10%以上高かった。

【地区別】

- ・地区別による差はあまり見られない。

■回答者の属性別にみた「市民の環境保全意識を高めるため、市としてどのような取り組みを行えば効果的だと思いますか。」

	合計	学校や教育社会における環境や社会の充実に	環境に関する強化	子供に触れられる機会など自然	体験学習などの自然	環境に関する情報の提供	身近な地域の環境	環境活動の指導者	学習会や講演会などの開催	環境保全活動に貢献した市民や団体の表彰	その他
全体	1,117	35.6%	28.1%	26.9%	24.8%	21.3%	15.1%	13.7%	5.8%	4.7%	
性別											
男性	485	33.2%	28.0%	24.1%	22.7%	22.3%	15.9%	15.1%	6.4%	6.0%	
女性	603	38.0%	28.9%	30.0%	27.4%	21.2%	14.1%	12.4%	5.5%	3.6%	
年代別											
20歳代	105	38.1%	25.7%	39.0%	26.7%	18.1%	10.5%	13.3%	9.5%	3.8%	
30歳代	156	48.1%	48.7%	19.9%	30.8%	12.8%	7.7%	14.1%	7.7%	5.1%	
40歳代	181	40.9%	28.7%	30.9%	25.4%	17.7%	14.9%	13.8%	6.1%	5.5%	
50歳代	205	37.1%	23.4%	36.1%	32.7%	24.4%	13.7%	15.1%	3.9%	6.3%	
60歳代	224	34.8%	30.8%	20.5%	20.5%	24.1%	18.8%	12.9%	7.6%	4.0%	
70歳代	148	24.3%	4.1%	6.5%	4.6%	8.1%	5.0%	3.6%	0.7%	0.5%	
80歳代	65	18.5%	24.6%	7.7%	18.5%	13.8%	18.5%	9.2%	3.1%	6.2%	
90歳代以上	4	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
職業別											
会社員	323	39.6%	27.2%	32.5%	25.4%	18.6%	13.3%	16.1%	6.5%	4.6%	
自営業	113	40.7%	20.4%	24.8%	27.4%	16.8%	18.6%	12.4%	9.7%	5.3%	
農林漁業	12	41.7%	0.0%	16.7%	33.3%	25.0%	16.7%	8.3%	8.3%	8.3%	
公務員	60	41.7%	38.3%	26.7%	25.0%	20.0%	11.7%	6.7%	5.0%	6.7%	
学生	25	48.0%	32.0%	28.0%	28.0%	8.0%	12.0%	16.0%	4.0%	8.0%	
無職	388	25.8%	20.4%	30.2%	24.2%	25.5%	16.2%	13.1%	4.6%	3.1%	
その他	167	44.9%	31.1%	35.3%	25.1%	23.4%	14.4%	13.8%	5.4%	6.6%	
地区別											
東部	342	36.0%	27.5%	29.8%	26.6%	21.1%	5.6%	15.2%	12.6%	6.1%	
西部	125	35.2%	26.4%	28.0%	24.0%	23.2%	20.0%	11.2%	5.6%	4.0%	
中央	276	37.3%	26.4%	26.4%	24.3%	21.4%	16.3%	13.0%	5.8%	4.0%	
南部	143	31.5%	25.9%	27.3%	21.0%	24.5%	12.6%	13.3%	4.2%	5.6%	
北部	196	36.7%	34.2%	27.0%	28.1%	20.4%	16.3%	13.3%	8.2%	3.1%	

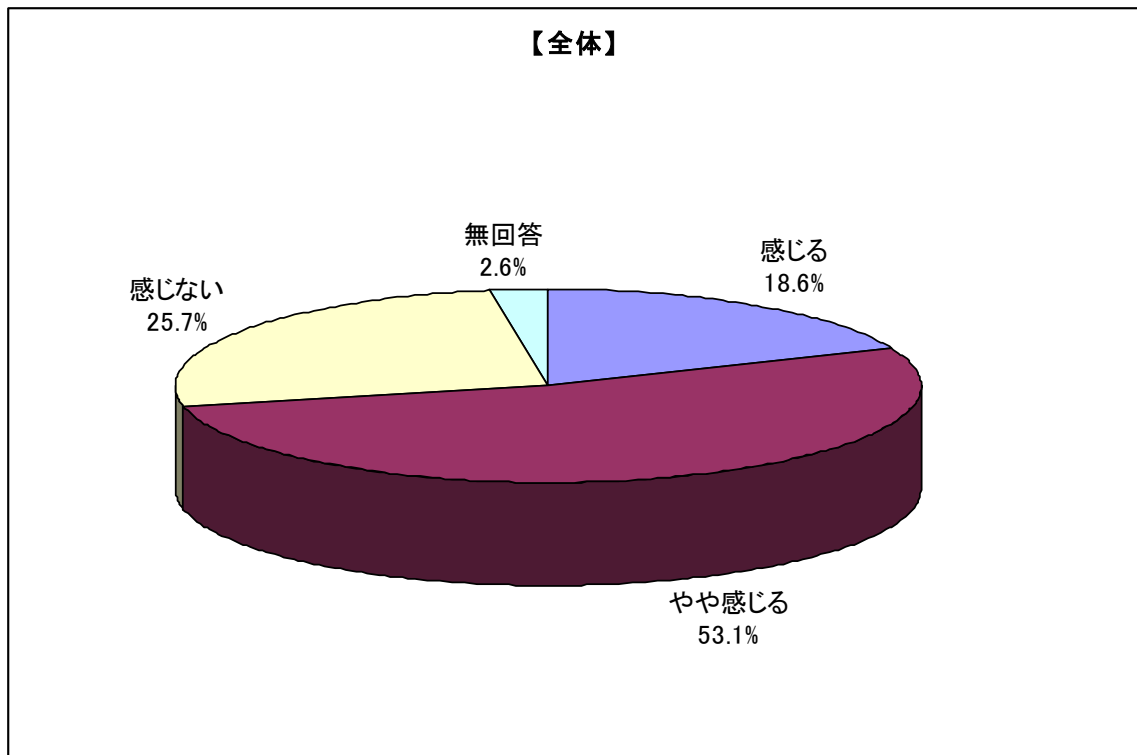
参考

○その他の内容

- ・市職員がまず自ら何らかの行動をやってみせる事が第一
- ・各企業、職場での環境教育の推進
- ・環境保全は様々あり、熊本市として特に重要な取り組みを1つに絞り、前端的に市民にアピールした方がいい
- ・もっと生活に関わる内容、場所が重要だと思います
- ・子供からの教育
- ・違反者に対する罰則
- ・環境税の導入

- ・全市民が認識できる告知方法
- ・すそのが広がる広報活動と機会
- ・エコポイントのような、具体的な利得が得られるシステム
- ・企業団体等への啓発協力要請等
- ・遊び心で自然とふれあい野外での体験型のイベント
- ・市政だよりの活用(身近なエコ学習会の情報提)
- ・市が市民の手本となる活動・施設を増やし(示し)広めていく
- ・社会貢献をしたいというのが第一にあって、リーダー育成の講習を受けたい。そして地域の活性化と育成にあたりたい
- ・イベント開催し、その中で提供
- ・市民皆さんにという目標も大切ですが、多少無理を感じる。義務教育を受けている小中学生に授業の一貫(道徳)の時間を利用して環境に対する学習を組み込んで頂けたらどうでしょうか。
- ・まずは広報活動を充実し、次にリーダーの育成が必要と考えます。リーダーは30才~40才の年代がベスト(老人会は世代相違があり)
- ・インターネットの活用
- ・今で充分と思う。これ以上金をかけても効果はあまりないと思います
- ・条例などの制定
- ・夕方のローカル局番組にコーナーを持つ
- ・市自体が総合的に取り組む基本姿勢と方針を徹底する
- ・身近でイベントや人の多く集まる所でイベントを開催する
- ・TPP について
- ・コンビニなど気軽に行けるところに、お知らせや広報活動の発信場所になってもらう。
- ・区町村内単位でのグループミーティング
- ・当番制の清掃活動
- ・市民から気軽に問題を提供出来る場作り
- ・親子環境教室(仮称)
- ・何のために保全が必要なのか? 緊急性があるのか? ※必要とわかっている仕事、収入にならなければ優先順位は落ちてしまう。ボランティアではなくビジネスとして

設問6. 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。(1つだけ)



【全体結果】

- ・「やや感じる」が 53.1%で最も多く、次いで「感じない」が 25.7%、「感じる」が 18.6%となっている。
- ・「やや感じる」と「感じる」を合わせると、71.7%で、役 7 割が環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じている。

【男女別】

- ・男女ともに、「やや感じる」が最も多く(男性 50.3%、女性 55.7%)、次に「感じない」(男性 30.3%、女性 22.2%)、「感じる」(男性 16.7%、女性 20.2%)の順で多かった。

【年代別】

- ・どの年代においても「やや感じる」が最も高く、次いで「感じない」、「感じる」となっている。
- ・「やや感じる」と「感じる」を合わせた割合が、70 歳代では 78.4%と最も高く、80 歳代では 60%と最も低かった。

【職業別】

- ・どの職業においても「やや感じる」が最も高かった。
- ・「やや感じる」と「感じる」を合わせた割合が、その他では 82.0%と最も高く、公務員

では 61.7%と最も低かった。

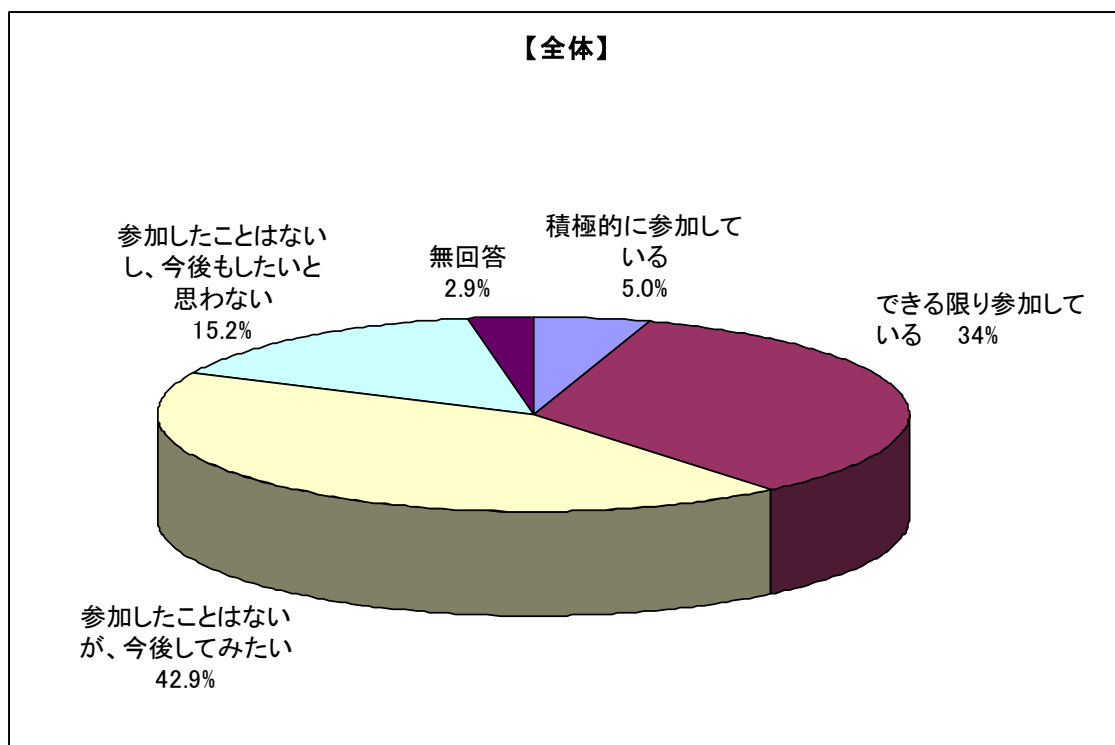
【地区別】

- ・どの地域においても「やや感じる」が最も高かった。
- ・「やや感じる」と「感じる」を合わせた割合が、北部では 75.5%と最も高く、南部では 66.5%と最も低かった。

■回答者の属性別にみた「環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。(1つだけ)」

	合計	感じる	やや感じる	感じない	無回答
全体	1,117	18.6%	53.1%	25.7%	2.6%
性別					
男性	485	16.7%	50.3%	30.3%	2.7%
女性	603	20.2%	55.7%	22.2%	1.8%
年代別					
20歳代	105	13.3%	54.3%	32.4%	0.0%
30歳代	156	12.2%	52.6%	34.6%	0.6%
40歳代	181	16.0%	58.6%	25.4%	0.0%
50歳代	205	18.5%	55.1%	24.4%	2.0%
60歳代	224	21.4%	51.8%	25.4%	1.3%
70歳代	148	28.4%	50.0%	16.9%	4.7%
80歳代	65	18.5%	41.5%	24.6%	15.4%
90歳代以上	4	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
職業別					
会社員	323	13.3%	55.1%	31.3%	0.3%
自営業	113	18.6%	54.0%	24.8%	2.7%
農林漁業	12	0.0%	58.3%	41.7%	0.0%
公務員	60	11.7%	50.0%	36.7%	1.7%
学生	25	12.0%	60.0%	28.0%	0.0%
無職	388	22.2%	49.7%	23.2%	4.9%
その他	167	25.1%	56.9%	17.4%	0.6%
地区別					
東部	342	16.4%	54.1%	27.2%	2.3%
西部	125	17.6%	52.0%	27.2%	3.2%
中央	276	21.4%	53.3%	23.2%	2.2%
南部	143	18.2%	48.3%	30.8%	2.8%
北部	196	19.9%	55.6%	23.0%	1.5%

設問7. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1つだけ)



【全体結果】

- ・「参加したことはないが、今後してみたい」が 42.9%で最も多く、次いで「できる限り参加している」が 34.0%、「参加したことはないし、今後もしたいと思わない」が 15.2%となっている。
- ・「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせると 39.0%で、4 割近くが日頃地域の環境保全活動に参加している。

【男女別】

- ・性別による差はあまり見られない。

【年代別】

- ・「積極的に参加している」と「出来る限り参加している」を合わせた割合が、20 歳代 (14.3%) が最も低く、以降 70 歳代 (46.6%) までは年代が上がるにつれて割合も上がっている。

【職業別】

- ・「積極的に参加している」と「出来る限り参加している」を合わせた割合が、農林漁業では 91.7%と最も高く、学生では 24.0%と最も低かった。

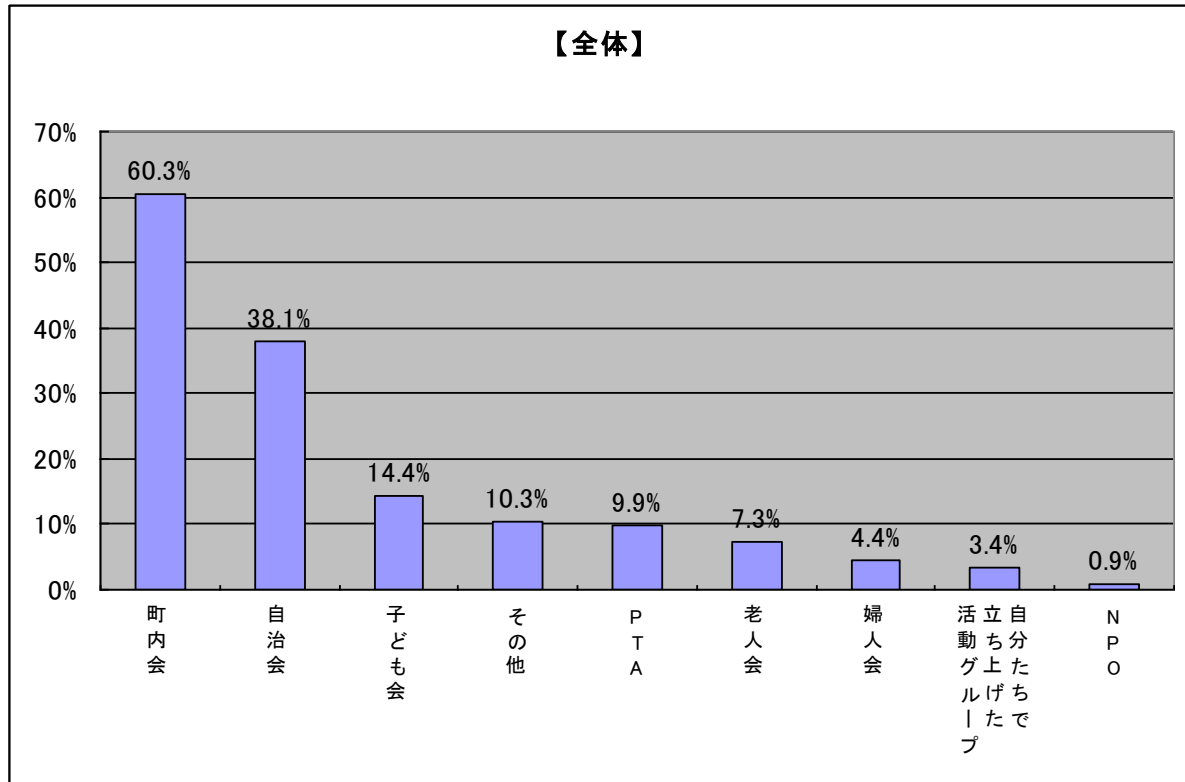
【地区別】

- ・「積極的に参加している」と「出来る限り参加している」を合わせた割合が、北部では 48.0%と最も高く、中央部では 30.8%と最も低かった。

■回答者の属性別にみた「日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1 つだけ)」

	合計	積極的に参加している	できる限り参加している	今参加してみたいが、	今参加したいと思わないし、	無回答
全体	1,117	5.0%	34.0%	42.9%	15.2%	2.9%
性別						
男性	485	6.2%	30.7%	45.6%	15.1%	2.5%
女性	603	4.0%	37.0%	41.5%	15.3%	2.3%
年代別						
20歳代	105	1.9%	12.4%	59.0%	26.7%	0.0%
30歳代	156	0.0%	30.8%	50.6%	17.9%	0.6%
40歳代	181	4.4%	39.8%	41.4%	13.3%	1.1%
50歳代	205	7.3%	37.1%	42.0%	11.2%	2.4%
60歳代	224	5.4%	40.2%	43.3%	9.4%	1.8%
70歳代	148	10.1%	36.5%	35.8%	12.2%	5.4%
80歳代	65	3.1%	24.6%	29.2%	32.3%	10.8%
90歳代以上	4	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%
職業別						
会社員	323	4.0%	25.7%	53.3%	16.7%	0.3%
自営業	113	4.4%	41.6%	39.8%	11.5%	2.7%
農林漁業	12	25.0%	66.7%	0.0%	8.3%	0.0%
公務員	60	6.7%	45.0%	38.3%	8.3%	1.7%
学生	25	0.0%	24.0%	52.0%	24.0%	0.0%
無職	388	5.4%	33.0%	38.7%	17.5%	5.4%
その他	167	4.8%	42.5%	41.3%	10.8%	0.6%
地区別						
東部	342	4.1%	34.8%	44.2%	15.5%	1.5%
西部	125	4.0%	31.2%	48.0%	12.8%	4.0%
中央	276	3.6%	27.2%	49.6%	17.0%	2.5%
南部	143	4.2%	42.0%	35.7%	15.4%	2.8%
北部	196	9.2%	38.8%	36.2%	12.8%	3.1%

設問8. 設問7で「積極的に参加している」「できる限り参加している」と答えられた方にお尋ねします。どのような団体の活動に参加していますか。



【全体結果】

・「町内会」が 60.3%と最も高く、次いで自治会 (38.1%)、子ども会 (14.4%) となっている。

【男女別】

・男女ともに、「町内会」が最も高く(男性 55.3%、女性 64.8%)、次いで「自治会」(男性 45.8%、女性 32.8%) 次いで男性では「その他」(13.4%)、女性では「子ども会」(17.4%) となっている。

【年代別】

・どの年代においても「町内会」が最も高くなっている。
 ・30 歳代においては「子ども会」が 33.3%と、全体の傾向より 20%近く高くなっている。

【職業別】

・農林漁業では「自治会」が 72.7%と最も高く、全体の傾向と比べても 30%以上高くなっている。それ以外の職業では「町内会」が最も高くなっている。

【地区別】

・地区別による差はあまり見られない。

■回答者の属性別にみた「どのような団体の活動に参加していますか。」

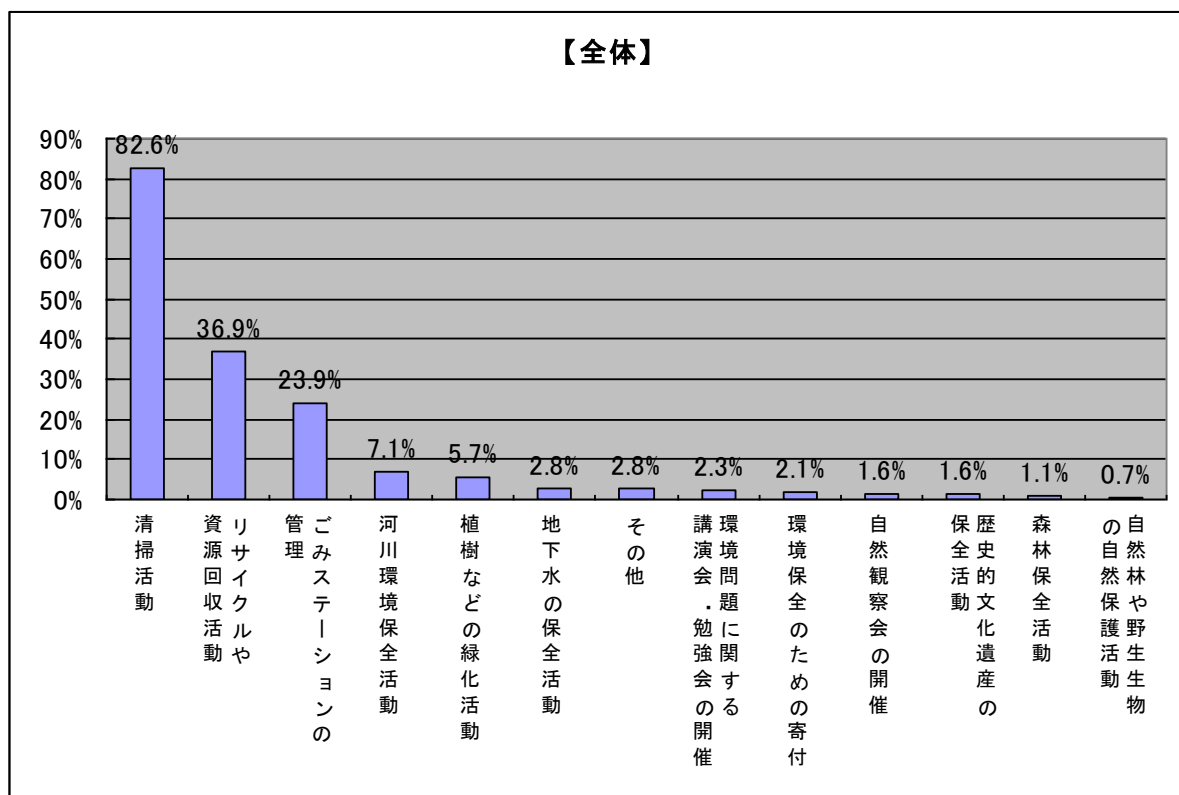
	合計	町内会	自治会	子ども会	その他	P T A	老人会	婦人会	自分たちで立ち上げた活動グループ	N P O
全体	436	60.3%	38.1%	14.4%	10.3%	9.9%	7.3%	4.4%	3.4%	0.9%
性別										
男性	179	55.3%	45.8%	10.6%	13.4%	7.8%	6.7%	1.7%	5.6%	0.6%
女性	247	64.8%	32.8%	17.4%	8.1%	11.3%	6.9%	7.3%	2.0%	0.4%
年代別										
20歳代	15	60.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%
30歳代	48	58.3%	20.8%	33.3%	18.8%	16.7%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%
40歳代	80	55.0%	38.8%	31.3%	8.8%	32.5%	0.0%	3.8%	5.0%	1.3%
50歳代	91	59.3%	42.9%	3.3%	13.2%	5.5%	0.0%	6.6%	2.2%	1.1%
60歳代	102	68.6%	40.2%	9.8%	8.8%	2.0%	2.9%	6.9%	2.9%	1.0%
70歳代	69	56.5%	49.3%	4.3%	4.3%	1.4%	30.4%	4.3%	4.3%	0.0%
80歳代	18	72.2%	22.2%	11.1%	5.6%	0.0%	27.8%	0.0%	0.0%	0.0%
90歳代以上	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
職業別										
会社員	96	56.3%	29.2%	11.5%	20.8%	10.4%	0.0%	1.0%	6.3%	1.0%
自営業	52	65.4%	38.5%	7.7%	5.8%	5.8%	3.8%	9.6%	7.7%	1.9%
農林漁業	11	45.5%	72.7%	9.1%	18.2%	0.0%	0.0%	18.2%	9.1%	0.0%
公務員	31	51.6%	54.8%	9.7%	9.7%	25.8%	3.2%	3.2%	0.0%	3.2%
学生	6	66.7%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%
無職	149	69.1%	38.3%	14.8%	3.4%	5.4%	14.1%	3.4%	1.3%	0.0%
その他	79	51.9%	40.5%	22.8%	12.7%	16.5%	5.1%	5.1%	1.3%	0.0%
地区別										
東部	133	63.9%	39.1%	12.8%	12.8%	7.5%	8.3%	2.3%	1.5%	0.8%
西部	44	65.9%	27.3%	20.5%	4.5%	9.1%	4.5%	9.1%	6.8%	4.5%
中央	85	58.8%	28.2%	17.6%	14.1%	11.8%	5.9%	7.1%	4.7%	0.0%
南部	66	54.5%	45.5%	10.6%	6.1%	9.1%	9.1%	0.0%	3.0%	0.0%
北部	94	60.6%	44.7%	14.9%	9.6%	10.6%	4.3%	6.4%	4.3%	1.1%

参考

○その他の内容

- ・有機農業研究会
- ・NPOのお手伝いなど
- ・公民館の除草作業
- ・生協の委員会活動
- ・公務員団体活動
- ・農業関係団体
- ・会社が主催する植林等の活動
- ・清掃ボランティア
- ・一斉清掃 環境保全隊作業
- ・独自でゴミ置場内のゴミ分別、周辺の草刈りを実施
- ・シルバー人材センター清掃作業等 地域では校内・道路清掃作業など 公園の清掃、花の管理など
- ・職場
- ・ライオンズクラブ
- ・学生会
- ・消防団
- ・青少協
- ・企業活動

設問8-1. 現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。



【全体結果】

・「清掃活動」が 82.6%と最も高く、次いで「リサイクルや資源回収活動」(36.9%)、ごみステーションの管理(23.9%)となっている。

【男女別】

・男女とも「清掃活動」が最も高く(男性 85.5%、女性 81.0%)、次いで「リサイクルや資源回収活動」(男性 27.9%、女性 44.1%)、ごみステーションの管理(男性 19.6%、女性 26.7%)の順で高くなっている。

【年代別】

・どの年代においても「清掃活動」が最も高くなっている。

【職業別】

・どの職業においても「清掃活動」が最も高くなっている。
 ・農林漁業においては「河川環境保全活動」が 45.5%と 2 番目に高く、全体の傾向と比べても 40%近く高くなっている。

【地区別】

・どの地区においても「清掃活動」が最も高くなっており、特に中央部では 85.9%と最も高くなっている。

■回答者の属性別にみた「現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。」

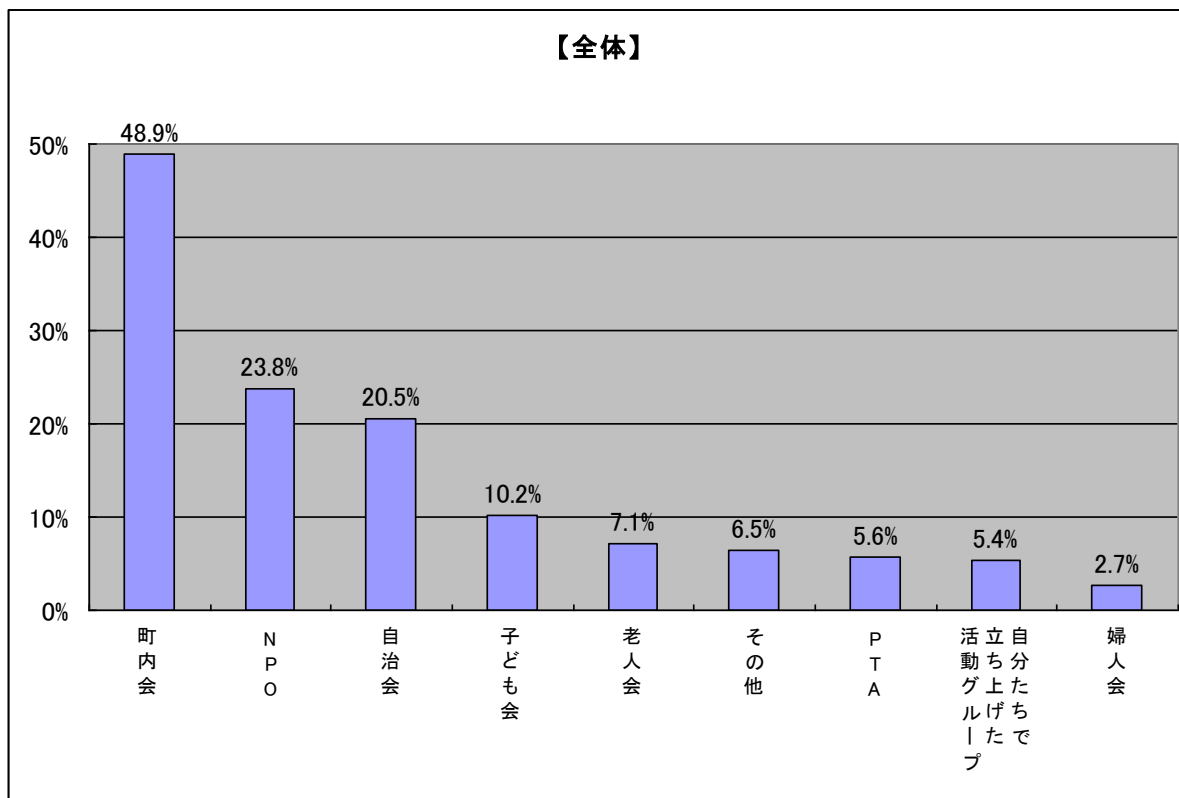
	合計	清掃活動	回収活動 リサイクルや資源回	ごみステーションの 管理	河川環境保全活動	植樹などの緑化活動	地下水の保全活動	その他	環境問題に関する講 演会・勉強会の開催	付環境保全のための寄	自然観察会の開催	歴史的 文化遺産の保 全活動	森林保全活動	自然林や野生 生物の 自然保護活動
全体	436	82.6%	36.9%	23.9%	7.1%	5.7%	2.8%	2.8%	2.3%	2.1%	1.6%	1.6%	1.1%	0.7%
性別														
男性	179	85.5%	27.9%	19.6%	9.5%	8.9%	3.4%	4.5%	1.7%	2.2%	1.7%	2.2%	1.1%	1.1%
女性	247	81.0%	44.1%	26.7%	5.7%	2.8%	2.4%	1.6%	2.8%	2.0%	1.6%	1.2%	1.2%	0.4%
年代別														
20歳代	15	73.3%	26.7%	26.7%	0.0%	13.3%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代	48	77.1%	43.8%	12.5%	4.2%	2.1%	2.1%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%
40歳代	80	83.8%	43.8%	20.0%	10.0%	2.5%	1.3%	2.5%	1.3%	3.8%	0.0%	1.3%	1.3%	0.0%
50歳代	91	86.8%	37.4%	23.1%	8.8%	8.8%	4.4%	1.1%	5.5%	3.3%	2.2%	1.1%	2.2%	1.1%
60歳代	102	87.3%	39.2%	32.4%	9.8%	7.8%	4.9%	1.0%	2.0%	1.0%	2.0%	2.9%	2.0%	2.0%
70歳代	69	81.2%	31.9%	23.2%	4.3%	2.9%	0.0%	4.3%	2.9%	2.9%	4.3%	1.4%	0.0%	0.0%
80歳代	18	66.7%	11.1%	27.8%	0.0%	0.0%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
90歳代以上	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
職業別														
会社員	96	84.4%	38.5%	13.5%	6.3%	8.3%	3.1%	4.2%	1.0%	0.0%	0.0%	2.1%	2.1%	2.1%
自営業	52	82.7%	32.7%	21.2%	9.6%	3.8%	3.8%	0.0%	1.9%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
農林漁業	11	90.9%	18.2%	0.0%	45.5%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%
公務員	31	90.3%	35.5%	22.6%	9.7%	6.5%	3.2%	3.2%	0.0%	3.2%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%
学生	6	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
無職	149	83.2%	36.2%	29.5%	3.4%	3.4%	1.3%	2.7%	4.0%	0.7%	2.0%	1.3%	0.0%	0.0%
その他	79	78.5%	44.3%	30.4%	7.6%	5.1%	3.8%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	1.3%	2.5%	1.3%
地区別														
東部	133	85.7%	27.1%	28.6%	5.3%	5.3%	3.0%	1.5%	1.5%	0.8%	3.0%	0.0%	1.5%	0.8%
西部	44	77.3%	50.0%	15.9%	9.1%	2.3%	0.0%	2.3%	2.3%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
中央	85	85.9%	40.0%	18.8%	3.5%	3.5%	2.4%	4.7%	1.2%	2.4%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%
南部	66	78.8%	33.3%	22.7%	10.6%	4.5%	1.5%	3.0%	4.5%	1.5%	1.5%	6.1%	1.5%	0.0%
北部	94	80.9%	44.7%	26.6%	10.6%	8.5%	5.3%	3.2%	3.2%	2.1%	2.1%	1.1%	2.1%	2.1%

参考

○その他の内容

- ・子ども達を集めて農業と環境の大切さを教えている
- ・缶拾い
- ・グランドゴルフの愛好会で公園の除草、清掃等を行っている。
- ・省エネ、節電、節水、環境美化、自然に親しむ活動
- ・通りかかりにチリを拾ったり、トイレに入った時に回りのくずを拾っている
- ・地域の国際交流 外国人の婦人の日本語ヘルプ
- ・体験型環境教育

設問9. 設問7で「参加したことはないが、今後参加してみたい」と答えられた方にお尋ねします。どのような団体の活動に参加してみたいですか。



【全体結果】

・「町内会」が 48.9%と最も高く、次いで「NPO」(23.8%)、「自治会」(20.5%)となっている。

【男女別】

・性別による差はあまり見られない。

【年代別】

・どの年代においても「町内会」が最も高くなっている。

・20 歳代においては「NPO」が 38.7%と 2 番目に高く、全体の傾向と比べても 15%近く高くなっている。

・30 歳代においては「子ども会」が 32.9%と 2 番目に高く、全体の傾向と比べても 20%以上高くなっている。

・70 歳代と 80 歳代においては「老人会」が 2 番目に高く(70 歳代 34.0%、80 歳代 36.8%)、全体の傾向と比べても 25%以上高くなっている。

【職業別】

・学生以外では「町内会」が最も高く、学生では「NPO」が 61.5%と最も高く、全体の傾向と比べても 40%近く高くなっている。

【地区別】

- ・どの地区においても「町内会」が最も高くなっている。
- ・南部では「子ども会」が 21.6%と 2 番目に高く、全体の傾向と比べても 10%以上高くなっている。

■回答者の属性別にみた「設問7で「参加したことはないが、今後参加してみたい」と答えられた方にお尋ねします。どのような団体の活動に参加してみたいですか。」

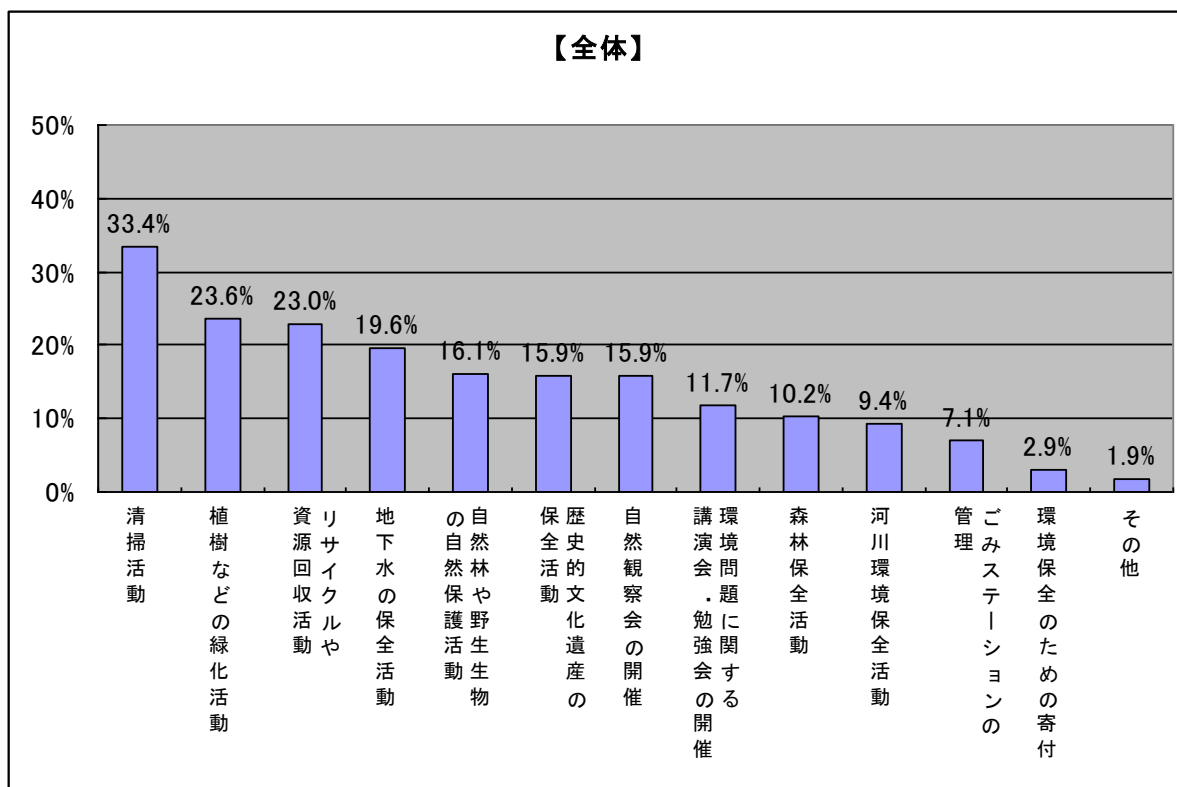
	合計	町内会	N P O	自治会	子ども会	老人会	その他	P T A	グち自 ル上分 ーげた プーち た た 活 動 立	婦人 会
全体	479	48.9%	23.8%	20.5%	10.2%	7.1%	6.5%	5.6%	5.4%	2.7%
性別										
男性	221	48.9%	25.3%	19.9%	8.1%	9.0%	7.2%	3.2%	6.3%	0.9%
女性	250	49.2%	22.4%	20.8%	12.4%	5.2%	6.0%	7.6%	4.4%	4.4%
年代別										
20歳代	62	40.3%	38.7%	17.7%	9.7%	0.0%	8.1%	4.8%	16.1%	3.2%
30歳代	79	39.2%	26.6%	20.3%	32.9%	0.0%	6.3%	15.2%	3.8%	1.3%
40歳代	75	38.7%	29.3%	22.7%	17.3%	0.0%	5.3%	14.7%	5.3%	1.3%
50歳代	86	50.0%	25.6%	23.3%	2.3%	2.3%	10.5%	0.0%	3.5%	5.8%
60歳代	97	60.8%	19.6%	24.7%	1.0%	7.2%	5.2%	1.0%	3.1%	2.1%
70歳代	53	60.4%	7.5%	15.1%	1.9%	34.0%	3.8%	0.0%	1.9%	3.8%
80歳代	19	63.2%	5.3%	5.3%	0.0%	36.8%	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%
90歳代以上	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
職業別										
会社員	172	41.3%	33.1%	22.1%	11.0%	1.7%	5.8%	6.4%	7.6%	2.3%
自営業	45	46.7%	22.2%	20.0%	11.1%	8.9%	8.9%	6.7%	4.4%	2.2%
農林漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	23	52.2%	13.0%	26.1%	17.4%	0.0%	8.7%	8.7%	4.3%	0.0%
学生	13	15.4%	61.5%	7.7%	7.7%	0.0%	15.4%	7.7%	15.4%	0.0%
無職	150	57.3%	15.3%	17.3%	4.7%	15.3%	6.0%	2.7%	2.7%	2.7%
その他	69	58.0%	17.4%	24.6%	18.8%	5.8%	5.8%	8.7%	4.3%	5.8%
地区別										
東部	151	53.0%	21.9%	23.2%	9.3%	6.6%	8.6%	4.0%	6.0%	1.3%
西部	60	50.0%	28.3%	10.0%	5.0%	13.3%	3.3%	1.7%	5.0%	6.7%
中央	137	48.9%	24.8%	20.4%	8.8%	5.1%	8.0%	5.8%	5.8%	2.9%
南部	51	43.1%	17.6%	21.6%	21.6%	3.9%	5.9%	13.7%	0.0%	5.9%
北部	71	46.5%	28.2%	23.9%	11.3%	8.5%	2.8%	7.0%	7.0%	0.0%

参考

○その他の内容

- ・気軽に参加できれば団体にはこだわらない
- ・制約をもたない自由活動と行政の提供
- ・既存の団体では強制されている感じがある
- ・参加自由で興味のあることだったら
- ・学生を中心とした団体活動
- ・団体ではなく、市民として参加できるものがあったほしいです
- ・市や県や共感した企業(地元企業)のエコプロジェクト
- ・地域ぐるみで実施される活動に参加してみたいと考えています
- ・ボランティア
- ・YMCA
- ・学校
- ・自主的な民間団体
- ・企業企画型

設問9-1. 設問7で「参加したことはないが、今後参加してみたい」と答えられた方にお尋ねします。今後、地域においてどのような環境保全活動に参加してみたいですか。



【全体結果】

・「清掃活動」が 33.4%と最も高く、次いで「植樹などの緑化活動」(23.6%)、「リサイクルや資源回収活動」(23.0%)となっている。

【男女別】

・性別による差はあまり見られない。

【年代別】

・20 歳代では「植樹などの緑化活動」が 33.9%、「自然林や野生生物の自然保護活動」が 27.4%、「河川環境保全活動」が 19.4%と、いずれも全体の傾向と比べて 10%以上高くなっている。

・30 歳代では「植樹などの緑化活動」が 41.8%と最も高く、全体の傾向と比べても 20%近く高くなっている。

【職業別】

・会社員では「自然林や野生生物の自然保護活動」が 29.7%と、全体の傾向と比べて 10%以上高くなっている。

・学生では「植樹などの緑化活動」が 46.2%、「地下水の保全活動」が 46.2%と、全体の傾向と比べて 20%以上高くなっている。また、「自然林や野生生物の自然保護活動」が 30.8%と、全体の傾向と比べて 15%近く高くなっている。

【地区別】

・地区による差はあまり見られない。

■回答者の属性別にみた「設問7で「参加したことはないが、今後参加してみたい」と答えられた方にお尋ねします。今後、地域においてどのような環境保全活動に参加してみたいですか。」

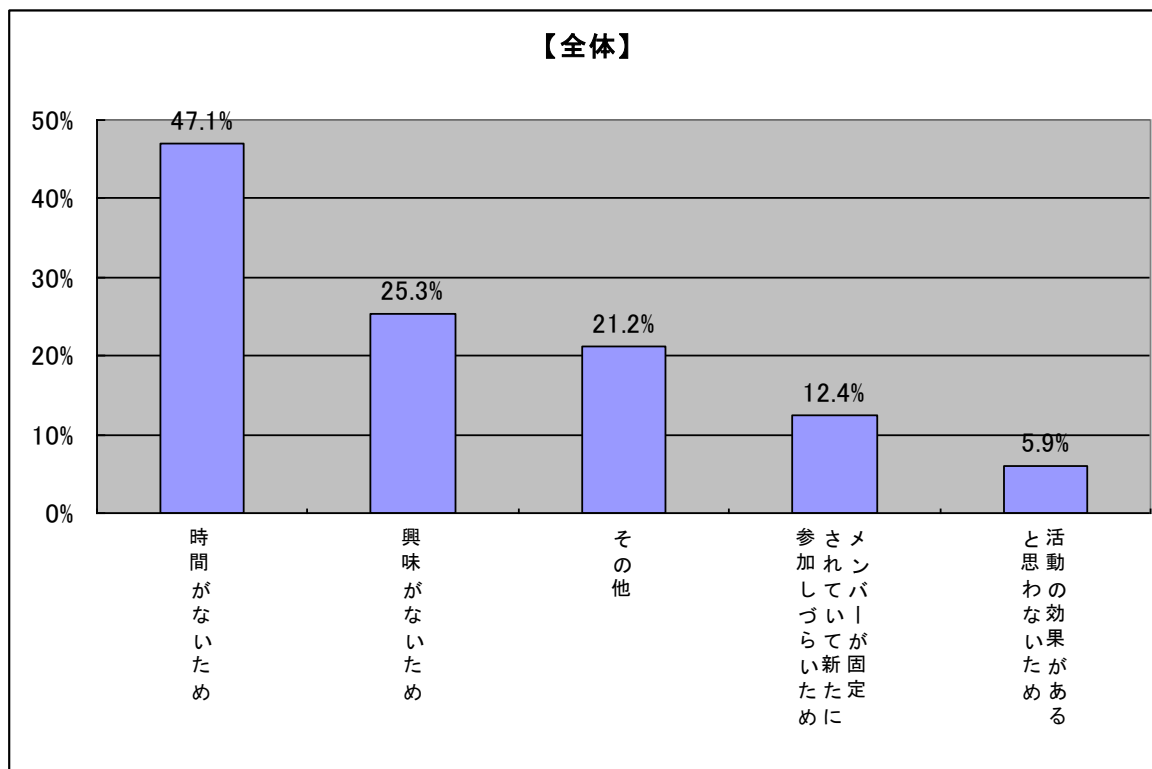
	合計	清掃活動	植樹などの緑化活動	リサイクルや資源回収活動	地下水の保全活動	自然林や野生生物の自然保護活動	歴史的文化遺産の保全活動	自然観察会の開催	環境問題に関する講演会・勉強会の開催	森林保全活動	河川環境保全活動	ごみステーションの管理	付環境保全のための寄付	その他
全体	479	33.4%	23.6%	23.0%	19.6%	16.1%	15.9%	15.9%	11.7%	10.2%	9.4%	7.1%	2.9%	1.9%
性別														
男性	221	32.1%	20.8%	20.4%	22.6%	14.9%	17.2%	15.4%	11.8%	10.4%	10.0%	8.6%	1.4%	2.3%
女性	250	35.2%	26.0%	26.0%	16.8%	17.2%	15.2%	16.4%	12.0%	9.6%	9.2%	6.0%	4.4%	1.6%
年代別														
20歳代	62	33.9%	33.9%	22.6%	25.8%	27.4%	17.7%	14.5%	6.5%	16.1%	19.4%	8.1%	1.6%	0.0%
30歳代	79	32.9%	41.8%	27.8%	25.3%	21.5%	15.2%	17.7%	6.3%	19.0%	16.5%	1.3%	5.1%	0.0%
40歳代	75	28.0%	20.0%	25.3%	21.3%	22.7%	20.0%	13.3%	20.0%	9.3%	10.7%	4.0%	1.3%	0.0%
50歳代	86	36.0%	17.4%	26.7%	15.1%	8.1%	16.3%	17.4%	11.6%	3.5%	5.8%	4.7%	2.3%	4.7%
60歳代	97	34.0%	20.6%	18.6%	19.6%	13.4%	18.6%	16.5%	12.4%	9.3%	4.1%	11.3%	4.1%	4.1%
70歳代	53	30.2%	9.4%	18.9%	11.3%	9.4%	7.5%	18.9%	17.0%	3.8%	5.7%	13.2%	1.9%	1.9%
80歳代	19	63.2%	15.8%	10.5%	15.8%	5.3%	10.5%	10.5%	5.3%	10.5%	0.0%	15.8%	5.3%	0.0%
90歳代以上	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
職業別														
会社員	172	31.4%	25.6%	23.8%	22.1%	29.7%	21.5%	14.5%	15.1%	10.5%	9.3%	5.2%	2.9%	0.6%
自営業	45	20.0%	22.2%	22.2%	15.6%	20.0%	8.9%	13.3%	13.3%	11.1%	6.7%	13.3%	4.4%	4.4%
農林漁業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	23	26.1%	26.1%	30.4%	26.1%	13.0%	17.4%	8.7%	4.3%	17.4%	17.4%	0.0%	0.0%	0.0%
学生	13	38.5%	46.2%	30.8%	46.2%	30.8%	15.4%	15.4%	0.0%	7.7%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	150	38.0%	17.3%	16.7%	12.7%	8.7%	14.0%	18.0%	13.3%	6.0%	5.3%	9.3%	3.3%	2.7%
その他	69	40.6%	29.0%	33.3%	24.6%	21.7%	11.6%	20.3%	4.3%	15.9%	17.4%	7.2%	2.9%	2.9%
地区別														
東部	151	35.8%	29.1%	23.8%	18.5%	20.5%	15.2%	16.6%	12.6%	15.2%	13.9%	6.6%	2.0%	2.0%
西部	60	38.3%	18.3%	21.7%	26.7%	15.0%	20.0%	13.3%	5.0%	10.0%	11.7%	5.0%	1.7%	3.3%
中央	137	31.4%	22.6%	24.8%	16.8%	12.4%	16.8%	16.8%	10.9%	7.3%	8.0%	8.0%	5.1%	0.7%
南部	51	27.5%	17.6%	21.6%	19.6%	13.7%	13.7%	13.7%	11.8%	5.9%	2.0%	5.9%	2.0%	5.9%
北部	71	35.2%	23.9%	21.1%	22.5%	18.3%	15.5%	18.3%	18.3%	8.5%	7.0%	9.9%	2.8%	0.0%

参考

○その他の内容

- ・環境税導入を早く。環境保全とは農林業が一番大切。
 - ・山歩きやハイキング等を一緒にした自然観察や保護
 - ・ほとんどすべてです。限定するのはおかしい。
 - ・市民が講師を選ぶ、有名な人が良い。
 - ・手本となるような個人や町や市や県や国の実態に学びたい
 - ・植林などは出来ないのだから花壇づくりとか草取りなどです
 - ・一人で自分の好きな時に自由にやれる活動 例:ゴミ拾い
 - ・海の環境活動や保全も必要であれば
 - ・上記に積極的に参加しなくても、常識を持って実践する
- ・水田、治水
 - ・生ゴミ処理
 - ・野外における体験型の活動
 - ・生ゴミのダンボールコンポスト

設問10. 設問7で「参加したことはないし、今後もしたいと思わない」と答えられた方にお尋ねします。参加したいと思わない理由は何ですか。



【全体結果】

・「時間がないため」が 47.1%と最も高く、次いで「興味がないため」(25.3%)、その他(21.2%)となっている。

【男女別】

・男女とも「時間がないため」が最も高くなっている(男性 47.9%、女性 47.8%)。次いで男性では「興味がないため」(27.4%)、「その他」(17.8%)、女性では「その他」(23.9%)、「興味がないため」(22.8%)の順で高くなっている。

【年代別】

・20 歳代においては「時間がない」が 67.9%と最も高く、全体の傾向と比べても 25%以上高くなっている。

・30 歳代においては「その他」が 78.6%と最も高くなっている。また、「時間がない」(67.9%)や「興味がない」(75.0%)、「メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため」(46.4%)も、全体の傾向と比べてそれぞれ 25%~50%近く高くなっていて、どの理由も「参加したいと思わない」要因を大きく占めている。

・50 歳代においては「時間がない」が 60.9%と最も高く、全体の傾向と比べても 20%近く高くなっている。

【職業別】

・無職では「その他」が 39.7%と最も高く、それ以外の職業では「時間がないうため」が最も高くなっている。

【地区別】

・地区による差はあまりみられない。

■回答者の属性別にみた「設問7で「参加したことはないし、今後もしたいと思わない」と答えられた方にお尋ねします。参加したいと思わない理由は何ですか。」

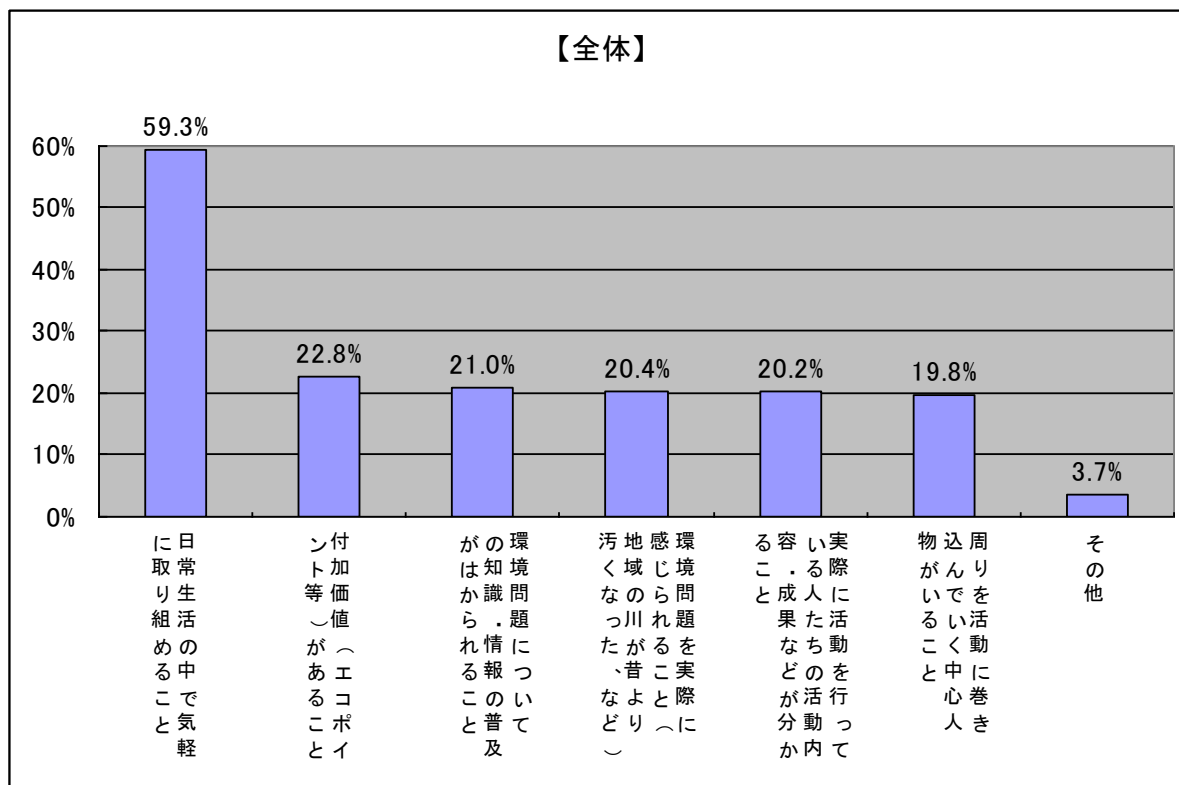
	合計	時間がないうため	興味がないため	その他	いいメンバーが固定されて新たに参加しづらいため	活動の効果があると思わないため
全体	170	47.1%	25.3%	21.2%	12.4%	5.9%
性別						
男性	73	47.9%	27.4%	17.8%	11.0%	8.2%
女性	92	47.8%	22.8%	23.9%	14.1%	3.3%
年代別						
20歳代	28	67.9%	39.3%	0.0%	25.0%	7.1%
30歳代	28	67.9%	75.0%	78.6%	46.4%	10.7%
40歳代	24	50.0%	29.2%	16.7%	16.7%	0.0%
50歳代	23	60.9%	34.8%	13.0%	8.7%	4.3%
60歳代	21	47.6%	33.3%	14.3%	9.5%	0.0%
70歳代	18	27.8%	22.2%	27.8%	5.6%	16.7%
80歳代	21	0.0%	4.8%	85.7%	0.0%	0.0%
90歳代以上	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
職業別						
会社員	54	70.4%	16.7%	5.6%	18.5%	7.4%
自営業	13	76.9%	30.8%	7.7%	7.7%	0.0%
農林漁業	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	5	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学生	6	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	16.7%
無職	68	22.1%	26.5%	39.7%	7.4%	2.9%
その他	18	55.6%	22.2%	22.2%	16.7%	11.1%
地区別						
東部	53	56.6%	22.6%	17.0%	11.3%	7.5%
西部	16	37.5%	37.5%	18.8%	6.3%	0.0%
中央	47	44.7%	19.1%	27.7%	19.1%	8.5%
南部	22	45.5%	31.8%	22.7%	9.1%	4.5%
北部	25	48.0%	20.0%	20.0%	12.0%	0.0%

参考

○その他の内容

- ・高齢の為
- ・会場まで行くのが面倒
- ・体が不自由だから
- ・出かけずに出来る事があれば参加したい
- ・偽善的な感じがする。自己満足で終わりそう。
- ・子どもが大きくなってから引越してきたせい、地域の活動等を身近に感じられない
- ・子どもが小さいため
- ・団体に活動するには、現在の自分の環境では難しいので、一人でもやれる事をしていく
- ・病弱なため
- ・団体に属さなくても、個人でできることが多い
- ・環境に対する市民の意識向上が大前提

設問11. どのような条件が整えば、より多くの人がまちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。



【全体結果】

・「日常生活の中で気軽に取組めること」が 59.3%と最も高く、次いで「付加価値（エコポイント等）があること」（22.8%）、「環境問題についての知識・情報の普及がはかれること」（21.0%）となっている。

【男女別】

・男女とも「日常生活の中で気軽に取組めること」が最も高くなっている（男性 54.4%、女性 65.2%）。次いで男性では「環境問題についての知識・情報の普及がはかれること」（22.9%）、「環境問題を実際に感じられること」（22.1%）、女性では「付加価値（エコポイント等）があること」（24.9%）、「周りを活動に巻き込んでいく中心人物がいること」（22.2%）の順で高かった。

【年代別】

・全ての年代で「日常生活の中で気軽に取組めること」が最も高くなっている。
 ・50 歳代では「実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などが分かること」が 30.7%と 2 番目に高く、全体の傾向と比べても 10%以上高くなっている。

【職業別】

・全ての職業で「日常生活の中で気軽に取組めること」が最も高くなっている。
 ・公務員では「環境問題を実際に感じられること」が 2 番目に高くなっており（36.7%）、

全体の傾向と比べても 15% 近く高くなっている。

【地区別】

・地区による差はあまり見られない。

■回答者の属性別にみた「設問11. どのような条件が整えば、より多くの人まちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。」

	合計	に日常 取り生 組活 め組 の中 で 気 軽	ン付 ト加 等価 値 が あ る エ コ ポ イ	は知環 か識境 ら・問 れ情題 る報につ こと の 普 及 が の	な の じ 川 ら が れ る こ と 、 昔 よ り 汚 く な ど	環 境 問 題 を 実 際 に 感 じ る こ と	容 い る 成 人 た ち の 活 動 が 分 か か る こ と	実 際 に 活 動 を 行 っ て い る こ と	周 り を 活 動 に 巻 き 込 む こ と	そ の 他
全体	1,117	59.3%	22.8%	21.0%	20.4%	20.2%	19.8%	3.7%		
性別										
男性	485	54.4%	21.0%	22.9%	22.1%	19.4%	16.9%	4.5%		
女性	603	65.2%	24.9%	20.2%	19.6%	21.4%	22.2%	2.7%		
年代別										
20歳代	105	53.3%	44.8%	15.2%	32.4%	23.8%	19.0%	5.7%		
30歳代	156	65.4%	37.8%	21.8%	26.9%	18.6%	19.2%	5.8%		
40歳代	181	64.1%	33.7%	15.5%	23.8%	14.4%	18.8%	2.8%		
50歳代	205	65.9%	21.0%	23.4%	19.5%	30.7%	11.7%	2.9%		
60歳代	224	62.9%	12.9%	22.8%	16.5%	19.2%	24.1%	1.8%		
70歳代	148	50.7%	5.4%	29.1%	16.2%	19.6%	25.0%	2.7%		
80歳代	65	44.6%	7.7%	20.0%	7.7%	13.8%	27.7%	6.2%		
90歳代以上	4	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
職業別										
会社員	323	61.9%	31.6%	21.4%	23.2%	19.5%	15.8%	5.6%		
自営業	113	62.8%	20.4%	21.2%	19.5%	17.7%	22.1%	5.3%		
農林漁業	12	58.3%	8.3%	8.3%	25.0%	33.3%	8.3%	0.0%		
公務員	60	50.0%	23.3%	11.7%	36.7%	18.3%	23.3%	3.3%		
学生	25	44.0%	28.0%	12.0%	20.0%	40.0%	32.0%	4.0%		
無職	388	57.0%	14.9%	25.5%	14.4%	19.8%	21.4%	2.1%		
その他	167	68.9%	28.1%	18.0%	25.7%	23.4%	21.0%	1.8%		
地区別										
東部	342	61.7%	22.5%	20.5%	24.3%	18.4%	18.7%	2.9%		
西部	125	56.8%	24.0%	16.0%	20.0%	25.6%	22.4%	4.0%		
中央	276	59.4%	23.9%	23.2%	18.8%	19.6%	23.6%	3.6%		
南部	143	62.9%	22.4%	20.3%	17.5%	21.0%	17.5%	3.5%		
北部	196	59.7%	23.5%	25.0%	20.4%	23.0%	17.3%	3.1%		

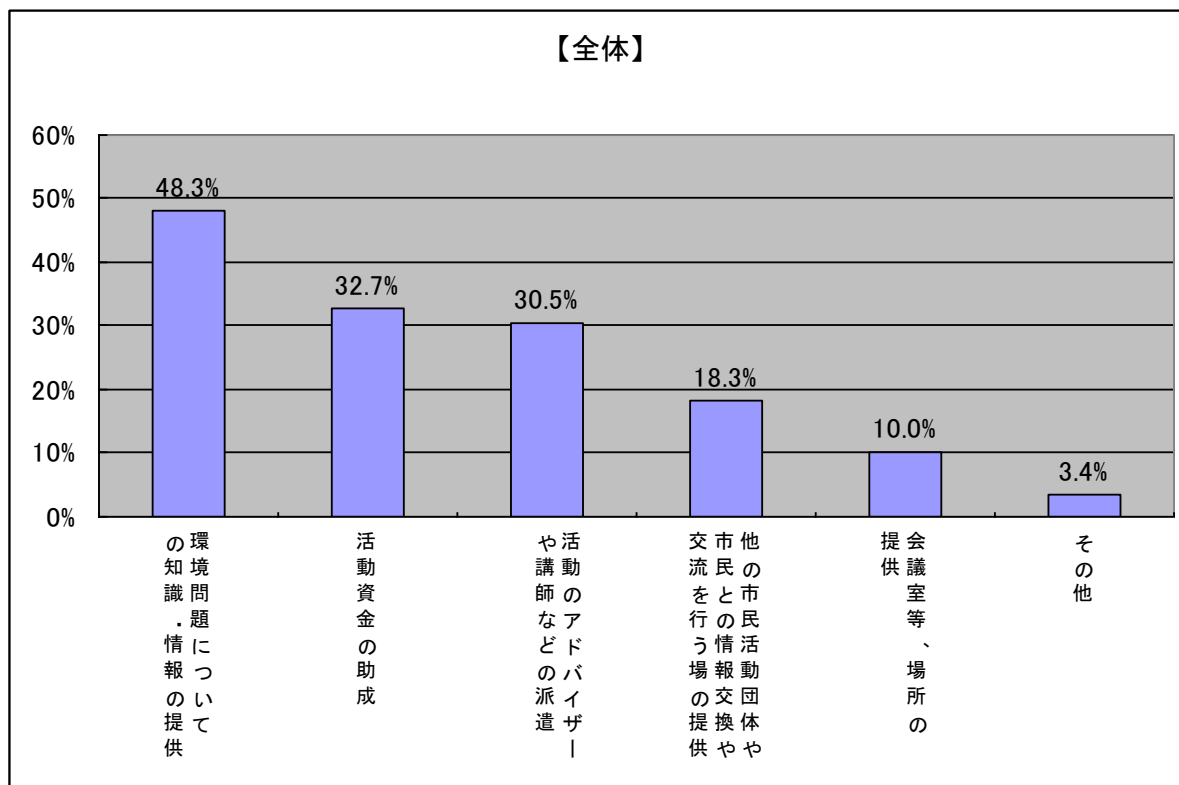
参考

○その他の内容

- ・企業・団体を中心とした活動
- ・生ゴミの堆肥化、都市近郊農家への普及、活動
- ・お金がもらえれば

- ・公務員が率先して奉仕すること
- ・手軽に参加できる交通機関の整備
- ・河川等の護岸整備、堆砂処理、泥土処理
- ・環境保全看板を道路に表示し、地域住民に周知させゴミ等を減らす意識高揚
- ・このように環境保全活動に取り組むことに一生懸命されている方がいる中で、どんなに関わっていても、全く関心のない常識のない人がいることがいることで、環境を壊されていくことが、同じ人間なのに、とても悲しいと感じることがよくあります。たくさんの方の気持ちが高まり、環境を壊す人がなくなり、環境保全がなされていくことを願います。できるだけ環境保全に取り組んでいきます。
- ・学校などで子供たちとともに親も参加するエコ活動、時間的に無理な層には金銭的な参加を呼びかける。
- ・より多くの方が仕事の時間帯が一緒になる事！！(休日が一緒の人が多くなれば)
- ・広報、始めは有名人を招く等、まず県民・市民に興味・関心を持ってもらうこと
- ・楽しんで家族全員レクリエーション的な活動
- ・罰則までいかなくともペナルティもあっていいように思う
- ・自治会や町内会で取り組めるようになると協力していけるだろうと思います
- ・当地に尊敬すべきリーダー有り
- ・イベントの開催の中で提供(駐車場など確保してもらおうと参加しやすい)
- ・突然、環境保全の取り組みと言われても、いったい何のことだかピンと来ないのが本音です。まずは個々の意識を高めなければ、団体・集団としての活動には結びつかない様な気がしません。
- ・個々のモラルを高めるべき。道や川にゴミを捨てても平気な人々が目につく。これでは環境問題の根本に関わるもので子どもに影響がある。民度を高めるべき(長いスパンが必要)
- 時間帯が合えば多くの方が参加出来ると思う
- ・法整備による義務化
- ・未来像が必要。より細かく具体的に。
- ・行政が主となる取り組み。
- ・個人の意識を高める
- ・子どもが参加する活動を実践すること(大人が必ずついてくる)
- ・「今〇〇が危ない」とか、「このままでは△△が危ない」と、いっそ情報をどんどん周知する必要があるのでは？
- ・子供達は現状を普通と思っている。昭和 30 年頃の自然を知っている人達の山・川・海等の話を孫、子に伝える映画、写真等で知らせる等々必要と思える。
- ・休みの日にサークル的なノリで参加できること(平日休みなので)
- ・活動を始めるきっかけを与えること
- ・ドイツのような・・・意識せずとも日常生活の中にエコがあふれる街並み・・・。(服のリサイクルポストや共同コンポスト設置など)
- ・親子で気軽に参加できる

設問12. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。



【全体結果】

・「環境問題についての知識・情報の提供」が 48.3%と最も高く、次いで「活動資金の助成」(32.7%)、「活動のアドバイザーや講師などの派遣」(30.5%)となっている。

【男女別】

・性別による差はあまり見られない。

【年代別】

・全ての年代で「環境問題についての知識・情報の提供」が最も高くなっているが、特に 70 歳代では 63.5%と、全体の傾向と比べても 15%以上高くなっている。

【職業別】

・農林漁業では「活動資金の助成」が 58.3%と最も高くなっており、全体の傾向と比べても 25%以上近く高くなっている。

・学生では「会議室等、場所の提供」が 28.0%と、全体の傾向と比べても 20%近く高くなっている。

【地区別】

・地区による差はあまり見られない。

■回答者の属性別にみた「地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。」

	合計	環境問題に関する情報提供	活動資金の助成	派遣活動のアドバイザーなどの提供	市民との交流を行う場	他の市民活動団体との情報交換	会議室等、場所の提供	その他
全体	1117	48.3%	32.7%	30.5%	18.3%	10.0%	3.4%	
性別								
男性	485	50.5%	34.6%	27.4%	18.1%	10.1%	3.5%	
女性	603	48.3%	32.2%	34.0%	19.2%	10.1%	3.3%	
年代別								
20歳代	105	47.6%	41.9%	35.2%	21.0%	20.0%	2.9%	
30歳代	156	45.5%	38.5%	39.1%	19.9%	9.6%	3.2%	
40歳代	181	40.9%	40.9%	38.7%	23.8%	15.5%	3.9%	
50歳代	205	49.8%	37.1%	34.1%	20.0%	9.3%	3.4%	
60歳代	224	49.6%	29.9%	25.4%	17.0%	6.7%	4.0%	
70歳代	148	63.5%	19.6%	20.9%	14.9%	6.1%	1.4%	
80歳代	65	50.8%	16.9%	18.5%	9.2%	6.2%	6.2%	
90歳代以上	4	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	
職業別								
会社員	323	46.7%	42.4%	33.1%	23.2%	12.4%	3.1%	
自営業	113	44.2%	28.3%	29.2%	15.0%	8.0%	3.5%	
農林漁業	12	41.7%	58.3%	33.3%	8.3%	8.3%	8.3%	
公務員	60	48.3%	35.0%	33.3%	16.7%	11.7%	3.3%	
学生	25	48.0%	36.0%	40.0%	16.0%	28.0%	4.0%	
無職	388	54.1%	7.5%	8.0%	5.7%	2.3%	0.5%	
その他	167	46.7%	32.9%	34.7%	24.0%	11.4%	4.2%	
地区別								
東部	342	51.5%	33.9%	30.4%	19.3%	11.4%	3.8%	
西部	125	50.4%	28.0%	32.0%	20.8%	12.8%	4.8%	
中央	276	45.7%	34.8%	28.3%	21.0%	10.5%	2.2%	
南部	143	46.9%	29.4%	32.2%	17.5%	6.3%	3.5%	
北部	196	51.5%	35.7%	35.2%	14.3%	8.7%	3.6%	

参考

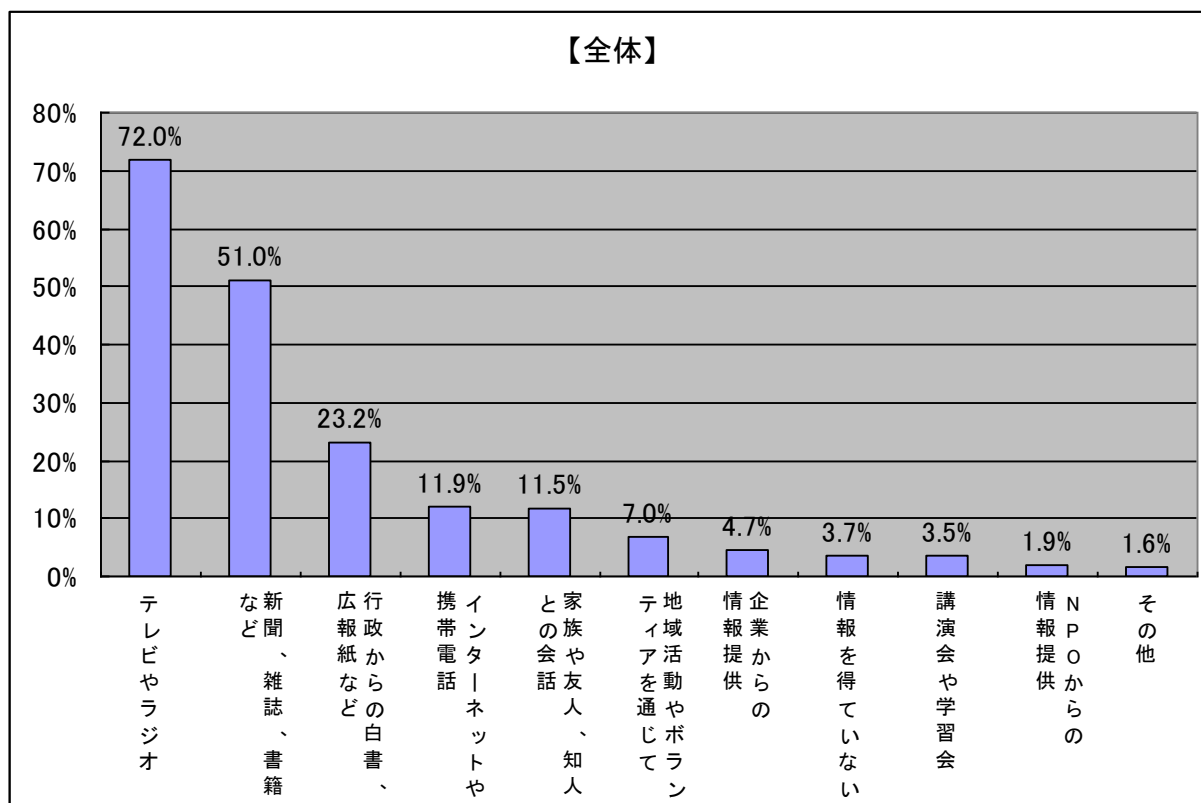
○その他の内容

なし

- ・環境税を早急に(地域規模先進国皆)
- ・核となる人の育成と連絡網の整備(細分化)
- ・支援する必要はない
- ・企業からの助成金
- ・市職員も環境企画を行う側も、参加している感が欲しい
- ・ジュース代、資材(ビニール袋、油代など)
- ・人集め
- ・行政との協力
- ・会社や店・企業にも参加を義務づけできたらいいと思う。その中で市民が活動すれば、休日返上でボランティアができない人たちも活動できる

- ・情報の提供と同時に、こんな理由でこんな支援が欲しいという事を聞くほうが良い
- ・環境団体よりは、環境企画課の方々の顔と考え、思いを知らせる事。
- ・参加したいと思う人の時間の確保の支援
- ・くまモンが頑張っ、身近に考えられるようにすること
- ・反強制的役割の支持・分担
- ・個人でもできるような活動の情報の提供
- ・1～5 全て必要だが、イベント(活動)情報を広く伝え、どこでどのような活動がいつ行われるのかを伝えるための支援
- ・人材の派遣、資材(竹炭の提供)(河川に沈める)など

設問13. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。



【全体結果】

・「テレビやラジオ」が 72.0%と最も高く、次いで「新聞、雑誌、書籍など」(51.0%)、「行政からの白書、広報紙など」(23.2%)となっている。

【男女別】

・性別による差はあまり見られない。

【年代別】

・全ての年代で「テレビやラジオ」が最も高くなっている。

・20 歳代では「インターネットや携帯電話」が 27.6%と、全体の傾向と比べて 15%以上高くなっている。

・50 歳代では「新聞、雑誌、書籍など」が 64.4%と、全体の傾向と比べて 10%以上高くなっている。

【職業別】

・どの職業でも「テレビやラジオ」が最も高くなっている。

・会社員及び学生では「インターネットや携帯電話」がそれぞれ 22.6%、28.0%と、全体の傾向と比べて 10%以上高くなっている。

【地区別】

・地区による差はあまり見られない。

■回答者の属性別にみた「普段、環境に関する情報を何から得ていますか。」

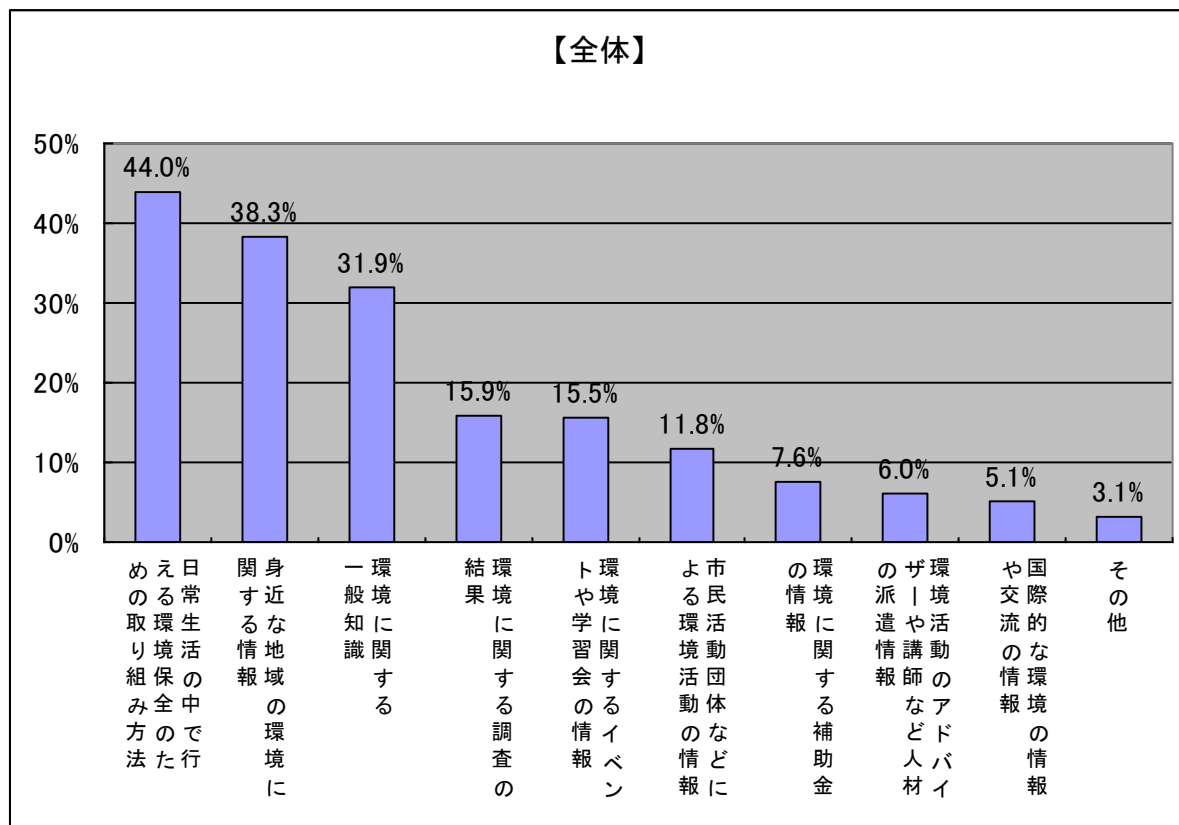
	合計	テレビやラジオ	新聞、雑誌、書籍など	行政からの白書、広報紙など	携帯電話	インターネットや	家族や友人、知人の会話	地域活動やボランティアを通じて	企業からの情報提供	情報を得ていない	講演会や学習会	NPOからの情報提供	その他
全体	1,117	72.0%	51.0%	23.2%	11.9%	11.5%	7.0%	4.7%	3.7%	3.5%	1.9%	1.6%	
性別													
男性	485	71.3%	50.7%	16.9%	14.8%	9.5%	7.2%	6.4%	4.5%	3.1%	2.3%	1.6%	
女性	603	74.8%	52.9%	28.9%	10.1%	13.6%	7.0%	3.2%	3.2%	3.8%	1.7%	1.7%	
年代別													
20歳代	105	80.0%	33.3%	9.5%	27.6%	16.2%	4.8%	3.8%	4.8%	1.9%	2.9%	3.8%	
30歳代	156	75.6%	51.3%	21.2%	21.2%	14.1%	3.2%	5.1%	2.6%	1.3%	1.9%	1.3%	
40歳代	181	74.6%	54.7%	27.1%	19.3%	6.6%	6.6%	3.9%	2.8%	5.0%	3.3%	0.6%	
50歳代	205	77.1%	64.4%	31.2%	13.2%	9.3%	7.3%	10.7%	2.9%	6.3%	1.5%	0.0%	
60歳代	224	69.6%	51.3%	25.9%	2.2%	14.3%	11.2%	2.7%	5.4%	2.7%	1.3%	2.2%	
70歳代	148	68.9%	50.7%	21.6%	1.4%	13.5%	8.8%	2.0%	3.4%	3.4%	2.0%	2.7%	
80歳代	65	66.2%	44.6%	16.9%	3.1%	7.7%	3.1%	0.0%	6.2%	1.5%	0.0%	3.1%	
90歳代以上	4	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
職業別													
会社員	323	77.7%	50.5%	15.8%	22.6%	7.1%	4.3%	11.1%	3.1%	2.2%	1.9%	0.9%	
自営業	113	64.6%	56.6%	18.6%	11.5%	12.4%	5.3%	6.2%	8.0%	2.7%	0.9%	0.9%	
農林漁業	12	83.3%	33.3%	33.3%	8.3%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%	
公務員	60	73.3%	58.3%	30.0%	16.7%	10.0%	5.0%	0.0%	0.0%	8.3%	3.3%	0.0%	
学生	25	76.0%	40.0%	8.0%	28.0%	20.0%	12.0%	0.0%	4.0%	4.0%	4.0%	12.0%	
無職	388	71.4%	50.3%	26.8%	4.4%	13.7%	8.8%	0.8%	3.6%	3.1%	1.3%	2.1%	
その他	167	73.7%	56.3%	33.5%	7.2%	15.0%	9.0%	2.4%	4.2%	6.0%	3.0%	1.2%	
地区別													
東部	342	78.1%	52.9%	26.3%	13.7%	11.1%	6.4%	3.2%	2.6%	3.5%	2.9%	1.8%	
西部	125	77.6%	47.2%	21.6%	12.0%	8.0%	1.6%	3.2%	3.2%	0.8%	2.4%	0.8%	
中央	276	71.0%	50.7%	19.2%	12.7%	12.0%	6.9%	7.2%	6.2%	4.0%	1.4%	2.9%	
南部	143	65.0%	55.2%	25.9%	10.5%	13.3%	7.0%	4.9%	2.8%	2.8%	0.7%	0.7%	
北部	196	71.4%	51.5%	24.5%	10.7%	14.3%	11.7%	4.1%	3.6%	5.1%	1.5%	1.0%	

参考

○その他の内容

- ・自治会からの呼びかけ、町内や老人会の広報紙掲載
- ・自分自ら現地へ行く。生の情報を得るアマゾン等(南米・北米等)
- ・情報が足りない
- ・情報を得ていない
- ・市政だよりが1番身近な情報
- ・自分から自然の中で遊び活動する
- ・回覧板等
- ・大学講義
- ・学校
- ・会社
- ・ライオンズクラブからの割当(事前説明あり)
- ・市政だより。でも情報は少ないです。
- ・自分の目で見ている

設問14. 環境に関する情報について、今後求めたいもの(不足しているもの)は何ですか。



【全体結果】

・「日常生活の中で行える環境保全のための取り組み方法」が44.0%と最も高く、次いで「身近な地域の環境に関する情報」(38.3%)、「環境に関する一般知識」(31.9%)となっている。

【男女別】

・性別による差はあまり見られない。

【年代別】

・70歳代では「身近な地域の環境に関する情報」が48.0%と最も高くなっている。

【職業別】

・職業による差はあまり見られない。

【地区別】

・地区による差はあまり見られない。

■回答者の属性別にみた「環境に関する情報について、今後求めたいもの(不足しているもの)は何ですか。」

	合計	日常生活の環境保全のための取り組み方法	身近な地域の環境に関する情報	環境に関する一般知識	環境に関する調査の結果	環境に関するイベントや学習会の情報	市民活動団体などによる環境活動の情報	環境に関する補助金	派遣情報	環境活動のアドバイザーや講師など人材の派遣情報	国際的な環境の情報や交流の情報	その他
全体	1,117	44.0%	38.3%	31.9%	15.9%	15.5%	11.8%	7.6%	6.0%	5.1%	3.1%	
性別												
男性	485	41.0%	38.1%	33.4%	15.5%	16.3%	12.4%	7.4%	6.2%	4.7%	3.5%	
女性	603	47.9%	40.0%	31.7%	17.1%	15.1%	11.3%	8.0%	6.1%	5.6%	2.7%	
年代別												
20歳代	105	41.9%	31.4%	40.0%	23.8%	20.0%	16.2%	12.4%	10.5%	6.7%	1.0%	
30歳代	156	53.2%	21.2%	26.9%	16.0%	13.5%	10.9%	8.3%	7.1%	4.5%	0.6%	
40歳代	181	46.4%	36.5%	30.4%	19.9%	13.3%	11.0%	10.5%	6.1%	3.9%	5.0%	
50歳代	205	46.8%	40.5%	34.6%	16.6%	15.6%	13.2%	4.9%	8.3%	8.3%	2.4%	
60歳代	224	47.3%	45.5%	29.9%	14.3%	17.4%	11.2%	4.0%	4.9%	4.0%	2.2%	
70歳代	148	37.2%	48.0%	33.1%	9.5%	12.8%	11.5%	6.8%	3.4%	3.4%	1.4%	
80歳代	65	30.8%	30.8%	26.2%	7.7%	1.5%	10.8%	1.5%	4.6%	6.2%	10.8%	
90歳代以上	4	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
職業別												
会社員	323	45.5%	37.5%	34.1%	20.1%	18.3%	13.9%	9.9%	4.6%	5.0%	2.8%	
自営業	113	41.6%	34.5%	36.3%	12.4%	14.2%	11.5%	3.5%	0.0%	4.4%	5.3%	
農林漁業	12	66.7%	50.0%	25.0%	16.7%	0.0%	16.7%	8.3%	8.3%	0.0%	8.3%	
公務員	60	51.7%	45.0%	25.0%	11.7%	18.3%	8.3%	13.3%	6.7%	1.7%	3.3%	
学生	25	36.0%	28.0%	24.0%	20.0%	24.0%	20.0%	8.0%	24.0%	12.0%	0.0%	
無職	388	42.8%	38.7%	32.2%	12.4%	13.1%	10.6%	5.2%	5.7%	5.4%	2.1%	
その他	167	47.3%	45.5%	31.7%	21.6%	16.8%	11.4%	10.2%	6.6%	6.6%	4.2%	
地区別												
東部	342	45.0%	42.1%	31.3%	16.1%	16.4%	11.7%	6.7%	6.1%	5.8%	2.6%	
西部	125	39.2%	35.2%	32.0%	19.2%	11.2%	13.6%	6.4%	3.2%	4.0%	5.6%	
中央	276	47.1%	39.1%	30.4%	14.9%	16.3%	10.5%	8.0%	6.5%	5.4%	2.2%	
南部	143	42.7%	33.6%	35.7%	14.7%	13.3%	11.2%	9.1%	4.2%	6.3%	5.6%	
北部	196	47.4%	40.8%	35.2%	17.9%	18.9%	13.8%	9.2%	9.2%	4.1%	1.5%	

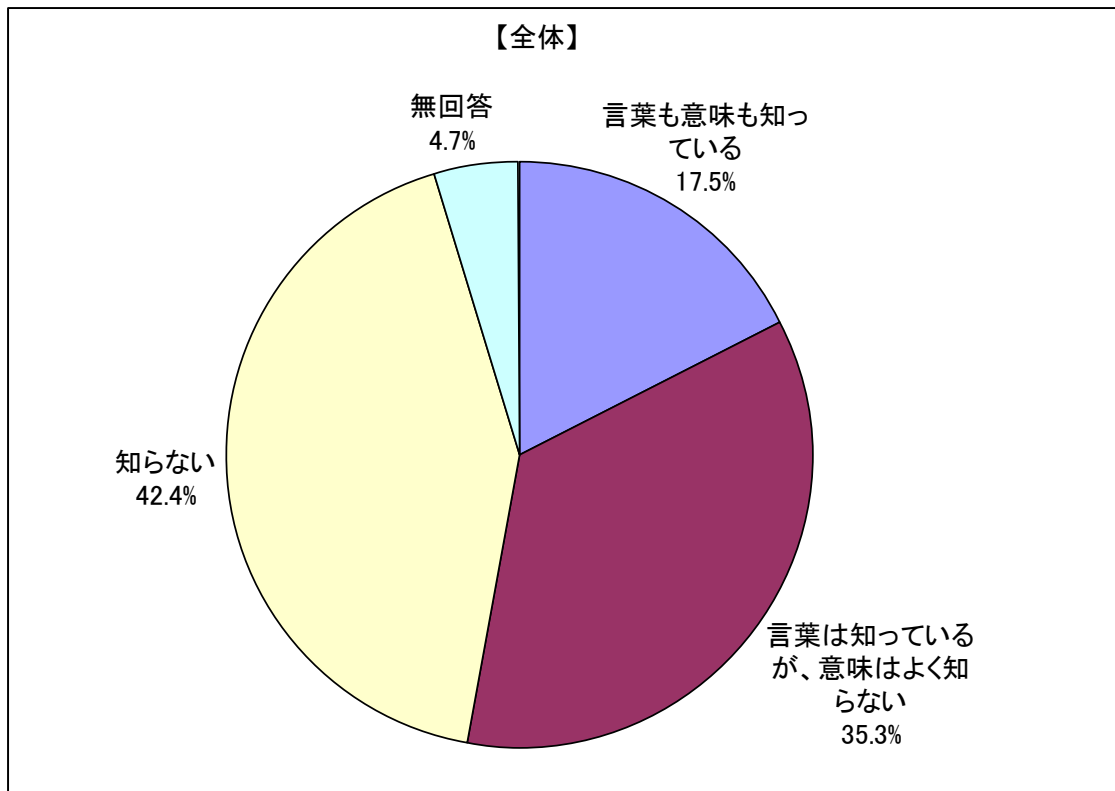
参考

○その他の内容

- ・情報の中身でなく、情報があることを知らせる手段(核化)
- ・環境に名を借りたビジネスについての情報
- ・子供から理解できるアニメ(マンガ)などによるやさしい情報。むずかしくデータ提供だけだとみないと思う
- ・模範的な取り組み、成功例を知りたい。情報を得たい。市民全体の意識の向上を求めたい
- ・環境破壊の現状及び 等
- ・具体的に身近に迫っている、切迫した問題は何かを、まず知りたいです
- ・より具体的、身近で目からウロコのような環境保全改善案の開示
- ・先進的な他都市の情報
- ・プラスチックのリサイクル状況と効果 子供にも分かる、やさしい言葉での情報
- ・環境に関する調査の結果と予測の開示
- ・もっとわかりやすく、現在の身近な状況を広く告知する必要があると思う

設問15「生物多様性」について

設問15. 「生物多様性」について知っていますか。(1つだけ)



【全体結果】

・「知らない」が 42.4%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、意味はよく知らない」(35.3%)、「言葉も意味も知っている」(17.5%)となっている。

【男女別】

・男女ともに「知らない」が最も多かったが、男性は 38.6%、女性は 46.9%と、女性のほうが 10%近く高くなっている。

【年代別】

・年代別で「知らない」と回答した割合が最も高いのは 30 歳代の 51.9%で、最も低いのは 70 歳代の 34.5%となっている。

【職業別】

・「言葉も意味も知っている」と回答した割合が最も高いのは学生の 36.0%で、最も低いのはその他の 16.2%となっている。

・「知らない」と回答した割合が最も高いのは会社員の 48.6%で、最も低いのは学生の 24.0%となっている。

【地区別】

・地区による差はあまり見られない。

■回答者の属性別にみた「生物多様性」について知っていますか。(1つだけ)

	合計	言葉も意味も知って いる	言葉は知っているが、 意味はよく知らない	知らない	無回答
全体	1,117	17.5%	35.3%	42.4%	4.7%
性別					
男性	485	22.3%	36.9%	38.6%	2.3%
女性	603	14.4%	35.3%	46.9%	3.3%
年代別					
20歳代	105	17.1%	34.3%	47.6%	1.0%
30歳代	156	16.7%	31.4%	51.9%	0.0%
40歳代	181	16.0%	33.1%	50.3%	0.6%
50歳代	205	16.6%	41.0%	40.5%	2.0%
60歳代	224	18.8%	39.3%	38.4%	3.6%
70歳代	148	21.6%	36.5%	34.5%	7.4%
80歳代	65	20.0%	30.8%	40.0%	9.2%
90歳代以上	4	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%
職業別					
会社員	323	17.3%	33.4%	48.6%	0.6%
自営業	113	17.7%	35.4%	40.7%	6.2%
農林漁業	12	16.7%	58.3%	25.0%	0.0%
公務員	60	18.3%	36.7%	45.0%	0.0%
学生	25	36.0%	40.0%	24.0%	0.0%
無職	388	18.0%	36.6%	40.5%	4.9%
その他	167	16.2%	37.7%	44.3%	1.8%
地区別					
東部	342	17.0%	38.3%	41.8%	2.9%
西部	125	13.6%	32.8%	51.2%	2.4%
中央	276	19.6%	35.9%	41.7%	2.9%
南部	143	19.6%	30.8%	46.9%	2.8%
北部	196	17.9%	38.8%	39.8%	3.6%

3. 參考資料

第3次熊本市環境総合計画
市民アンケート

■調査ご協力をお願い

日頃から、本市の環境保全のための取り組みにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このアンケートは、平成23年3月に策定された「第3次熊本市環境総合計画」の進捗状況を管理し、今後の施策の展開に役立てるために行うものです。

なお、本アンケート調査は、本市の住民基本台帳に登録されている満20歳以上の市民の中から無作為に抽出した3,000人の方々にお送りさせていただいております。

回答内容は全て統計的に処理し、個人が特定されたり、ご迷惑をお掛けしたりすることはございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

※第3次熊本市環境総合計画は、熊本市本庁舎の市政情報プラザ及び環境企画課、又は各市民センター及び総合支所でご覧になれます。

又は、市のホームページ (<http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/>)でもご確認いただけます。

■アンケートの回答方法について

- ・回答は、封筒の宛名の方がお答えください。(代筆でも結構です。)
- ・回答は、黒の鉛筆又はボールペンでアンケート用紙に記入してください。
- ・アンケート用紙及び返信用封筒には、お名前とご住所の記入は不要です。
- ・アンケート用紙は、同封の返信用封筒にて、12月22日(木)までに投函してください。(切手は不要です。)

■お問い合わせ先

熊本市役所 環境保全局 環境保全部 環境企画課

電話：096-328-2427

FAX：096-359-9945

電子メール：kankyokikaku@city.kumamoto.lg.jp

担当：井上、橋本

I 貴方自身や地域の環境保全活動等についてお聞きします。あてはまる選択肢の番号に丸(O)をつけてください。特に記載がなければ、複数回答していただいても結構です。

ご回答いただく前に・・・

熊本市では、平成23年3月に策定した「第3次熊本市環境総合計画」において重点的に取り組む施策として、「ひとづくり・まちづくりプロジェクト」を掲げています。

「ひとづくりプロジェクト」とは、市民の皆様が環境保全行動を実践するためには、まず環境保全の意識を高めることが重要であるとの考えのもとに、様々な年代・性別・ライフステージにおいて地球環境や地域の環境課題について考える機会を提供し、自発的な環境保全行動につなげていただくための取り組みのことで、さらにはその行動を家庭や地域など社会全体に広げていくため、人材の育成や活動の場の提供を行っていきたくと考えています。

「まちづくりプロジェクト」とは、これまで環境保全活動に取り組んできたのは、環境意識の高い市民や地域の役員、市民活動団体など、一部の限られた人たちであったこと、また、活動を行いたいと思っても活動の場がなかったり、方法が分からないなどの問題の解決を図ることが必要であるとの考えのもと、より多くの市民の皆様が環境保全活動を活発に行えるような情報の提供を行い、様々な主体の協働体制を促進する取り組みのことで、

そこで、これらのプロジェクトを進めていくための参考とさせていただくため、設問1～5では「ひとづくりプロジェクト」について、設問6～14では「まちづくりプロジェクト」に関することについてお伺いさせていただきます。

次のページより、設問が始まります。

5. 市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取り組みを行えば効果的だと思いますか。

- 1 学習会や講演会などの開催
- 2 学校や社会における環境教育の充実
- 3 環境活動の指導者や地域リーダーの育成
- 4 環境に関する情報を入手できる場の提供
- 5 体験学習など自然に触れる機会の提供
- 6 環境に関する広報などの強化
- 7 環境保全活動に貢献した市民や団体の表彰
- 8 身近な地域の環境保全について考える機会の提供
- 9 その他 ()

設問6～14「まちづくりプロジェクト」について

6. 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。
※例：緑化活動、清掃活動、環境学習に関する活動など (1つだけ)

- 1 感じる
- 2 やや感じる
- 3 感じない

7. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。 (1つだけ)

- 1 積極的に参加している
- 2 できる限り参加している
- 3 参加したことはないが、今後してみたい
- 4 参加したことはないし、今後もしたいと思わない

8. 設問7で「積極的に参加している」「できる限り参加している」と答えられた方にお尋ねします。どのような団体の活動に参加していますか。

- 1 自治会
- 2 町内会
- 3 PTA
- 4 NPO
- 5 老人会
- 6 婦人会
- 7 子ども会
- 8 自分たちで立ち上げた活動グループ
- 9 その他 ()

8-1. 現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。

- 1 自然林や野生生物の自然保護活動
- 2 自然観察会の開催
- 3 植樹などの緑化活動
- 4 森林保全活動
- 5 地下水の保全活動
- 6 河川環境保全活動
- 7 清掃活動
- 8 ごみステーションの管理
- 9 リサイクルや資源回収活動
- 10 歴史的文化遺産の保全活動
- 11 環境問題に関する講演会・勉強会の開催
- 12 環境保全のための寄付
- 13 その他 ()

9. 設問7で「参加したことはないが、今後参加してみたい」と答えられた方にお尋ねします。どのような団体の活動に参加してみたいですか。

- 1 自治会
- 2 町内会
- 3 PTA
- 4 NPO
- 5 老人会
- 6 婦人会
- 7 子ども会
- 8 自分たちで立ち上げた活動グループ
- 9 その他 ()

9-1. 今後、地域においてどのような環境保全活動に参加してみたいですか。

- 1 自然林や野生生物の自然保護活動
- 2 自然観察会の開催
- 3 植樹などの緑化活動
- 4 森林保全活動
- 5 地下水の保全活動
- 6 河川環境保全活動
- 7 清掃活動
- 8 ごみステーションの管理
- 9 リサイクルや資源回収活動
- 10 歴史的文化遺産の保全活動
- 11 環境問題に関する講演会・勉強会の開催
- 12 環境保全のための寄付
- 13 その他 ()

10. 設問7で「参加したことはないし、今後もしたいと思わない」と答えられた方にお尋ねします。参加したいと思わない理由は何ですか。

- 1 時間がないため
- 2 興味がないため
- 3 メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため
- 4 活動の効果があると思わないため
- 5 その他 ()

11. どのような条件が整えば、より多くの方がまちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。

- 1 環境問題についての知識・情報の普及がはかられること
- 2 環境問題を実際に感じられること(地域の川が昔より汚くなった、など)
- 3 周りを活動に巻き込んでいく中心人物がいること
- 4 実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などが分かること
- 5 日常生活の中で気軽に取り組めること
- 6 付加価値(エコポイント等)があること
- 7 その他 ()

12. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。

- 1 環境問題についての知識・情報の提供
- 2 活動のアドバイザーや講師などの派遣
- 3 会議室等、場所の提供
- 4 他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供
- 5 活動資金の助成
- 6 その他 ()

13. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。

- 1 テレビやラジオ
- 2 新聞、雑誌、書籍など
- 3 家族や友人、知人との会話
- 4 行政からの白書、広報紙など
- 5 インターネットや携帯電話
- 6 講演会や学習会
- 7 地域活動やボランティアを通じて
- 8 NPOからの情報提供
- 9 企業からの情報提供
- 10 その他 ()
- 11 情報を得ていない

14. 環境に関する情報について、今後求めたいもの(不足しているもの)は何ですか。

- 1 環境に関する一般知識
- 2 日常生活の中で行える環境保全のための取り組み方法
- 3 環境に関するイベントや学習会の情報
- 4 市民活動団体などによる環境活動の情報
- 5 環境に関する調査の結果
- 6 環境に関する補助金の情報
- 7 国際的な環境の情報や交流の情報
- 8 環境活動のアドバイザーや講師など人材の派遣情報
- 9 身近な地域の環境に関する情報
- 10 その他 ()

設問15は「生物多様性」についてお伺いします。

近年、生物多様性に対する関心が国際的に高まっており、2010年には「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」が名古屋で開催されました。

第3次熊本市環境総合計画においても、目標のひとつとして「人と生きもののつながりについて学び、まもる」ことを掲げており、生物多様性についての知識の啓発や、生物多様性をまもるための自然環境の保全などの取り組みを行っていくこととしております。

そこで、これらの取り組みの進捗状況を計るための指標とするため、次の設問にお答えください。

15. 「生物多様性」について知っていますか。（1つだけ）

- 1 言葉も意味も知っている
- 2 言葉は知っているが、意味はよく知らない
- 3 知らない

※生物多様性とは・・・生物多様性とは、生物にはいろいろな種がいて（種の多様性）、それらの種内にはいろいろな個性を持った個体がいること（種内の多様性）、さらには、いろいろな生活環境があること（生態系の多様性）を言います。

これらの多様性は、私たち人間にも食糧や医療品、または文化的な価値など多くの恵みをもたらしています。また、多様な生物が存在することで自然界はバランスを保っています。

しかし近年、地球温暖化や外来生物の持ち込みなどによって、生物多様性は危機にさらされています。この生物多様性を保全するために、様々な取り組みが世界中で行われています。熊本市においても、生物多様性についての知識の啓発や、水辺環境や緑地の保全など、自然と共生する豊かなまちづくりに取り組んでいます。

II 回答者ご自身についてお聞きします。

1. 性別

- 1 男
- 2 女

2. 年齢

- 1 20歳代
- 2 30歳代
- 3 40歳代
- 4 50歳代
- 5 60歳代
- 6 70歳代
- 7 80歳代
- 8 90歳代以上

3. 職業

- 1 会社員
- 2 自営業
- 3 農林漁業
- 4 公務員
- 5 学生
- 6 無職
- 7 その他（ ）

4. お住まいの地区

回答欄	該当地区（小学校区域）
1 東部	画図、健軍、秋津、泉ヶ丘、若葉、尾ノ上、西原、託麻東、託麻西、託麻北、桜木、東町、月出、健軍東、託麻南、山ノ内、長嶺、桜木東
2 西部	古町、春日、城西、花園、池田、白坪、高橋、池上、城山、松尾東、松尾西、松尾北、小島、中島、芳野、河内、
3 中央	壺川、碩台、白川、城東、慶徳、一新、五福、向山、黒髪、大江、本荘、春竹、出水、砂取、託麻原、帯山、白山、帯山西、出水南
4 南部	日吉、川尻、力合、御幸、田迎、城南、田迎南、飽田東、飽田南、飽田西、中緑、銭塘、奥古閑、川口、日吉東、富合、杉上、隈庄、豊田
5 北部	清水、龍田、城北、高平台、楠、麻生田、武蔵、弓削、楡木、川上、西里、北部東、植木、山本、田原、菱形、桜井、山東、田底、吉松

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。